

実施計画・事務事業評価共通調書

【PLAN】事務事業の計画 事務事業番号 1

記入日 平成27年3月31日  
所属部課名 市長公室 企画政策課

|        |     |   |                              |          |        |            |                    |        |  |
|--------|-----|---|------------------------------|----------|--------|------------|--------------------|--------|--|
| 総合計画体系 | 政策  | 6 | 人と地域、絆を大切にしたい元気なまちづくり〔自治・協働〕 | 事務事業性質   | 計画策定事務 | 後期基本計画重点視点 | 補助単独区分             | 所管省庁   |  |
|        | 小政策 | 3 | 自治を育み、創造的な行財政運営を推進します        | 重要事務事業   | —      |            |                    | 市単独    |  |
|        | 施策  | 2 | 行政運営                         | 総合計画実施計画 | ○      |            |                    | 補助率    |  |
|        | 小施策 | 1 | 行政マネジメントシステムの確立              | 新規・継続    | 継続     |            |                    |        |  |
| 予算科目   | 会計  | 款 | 項                            | 目        | 細目名    | 関連計画       | 総合計画(基本構想), 後期基本計画 |        |  |
|        | -   | - | -                            | -        | -      | 根拠法令       |                    |        |  |
|        |     |   |                              |          |        | 実施手法       | 補助金の有無             | 負担金の有無 |  |
|        |     |   |                              |          |        | 直営         | -                  | -      |  |

|  |   |   |  |
|--|---|---|--|
| 1 【事務事業の全体概要及び背景】  | 2 【H26事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】   | 3 【年度目標】  | 4 【事業費の内容(決算額)】  |
| <p>本市の目指すべき将来像である「住みよいまち訪れてよいまち笠間」～みんなで創る文化交流都市～」の実現に向けて、基本構想及び後期基本計画に掲げた政策や施策の内容をより具体的に示しながら推進していく。また、中期目標(後期基本計画重点視点)や短期目標(重点施策)を決定し、市内外に本市の目指す方向性を発信していく。</p> <p>また、第2次総合計画の策定に向けて検討を進めるとともに、平成28年度中の策定を目指していく。</p> | <p>○実施計画策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実施計画策定のため、策定方針の決定し、職員周知を徹底する。</li> <li>実施計画、重点施策及び重要事務事業決定のため、各課調整及び企画調整会議の円滑な運営を図る。</li> </ul> <p>○進行管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事務事業評価を活用した進行管理を実施する。</li> <li>施策評価を活用した進行管理を実施する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>実施計画決定及び周知</li> <li>重点施策及び重要事務事業の決定及び周知</li> </ul>   |  |
|  | <p>H27事業計画</p> <p>○実施計画策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実施計画策定のため、策定方針の決定し、職員周知を徹底する。</li> <li>実施計画、重点施策及び重要事務事業決定のため、各課調整及び企画調整会議の円滑な運営を図る。</li> </ul> <p>○進行管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事務事業評価及び施策評価を活用した進行管理を実施する。</li> </ul> <p>○第2次総合計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計画の策定に向けて検討を進める。</li> </ul> | <p>H28事業計画</p> <p>○実施計画策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実施計画策定のため、策定方針の決定し、職員周知を徹底する。</li> <li>実施計画、重点施策及び重要事務事業決定のため、各課調整及び企画調整会議の円滑な運営を図る。</li> </ul> <p>○進行管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事務事業評価及び施策評価を活用した進行管理を実施する。</li> </ul> <p>○第2次総合計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計画策定作業を進める。</li> <li>計画策定及び計画の周知徹底</li> </ul> | <p>H29事業計画</p> <p>○実施計画策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実施計画策定のため、策定方針の決定し、職員周知を徹底する。</li> <li>実施計画、重点施策及び重要事務事業決定のため、各課調整及び企画調整会議の円滑な運営を図る。</li> </ul> <p>○進行管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事務事業評価を活用した進行管理を実施する。</li> <li>施策評価を活用した進行管理を実施する。</li> </ul> |

|              |                                    |   |
|--------------|------------------------------------|---|
| 5 事務事業の目的と手段 |                                    | 単位  |
| 目的           | ①対象(働きかける相手・もの)                    | 職員・市民   |
|              | ②事務事業の意図(どのようにしたいのか。どういった状態にしたいのか) | <ul style="list-style-type: none"> <li>計画の進行管理の実施</li> <li>基本計画に基づく実施計画、重点施策及び重要事務事業の決定</li> <li>将来像実現のため、市民の理解と信頼性の向上</li> </ul> |
| 手段           | ③目的を達成するために実際に行った行政活動(サービス)        | <ul style="list-style-type: none"> <li>行政評価との連携</li> <li>各課意見調整及び企画調整会議の運営</li> <li>職員及び市民への周知徹底</li> </ul>                       |
|              | ④対象指標                              | <p>職員数 人</p> <p>市民数 人</p>   |
|              | ⑤成果指標                              | <p>決定施策数 施策</p> <p>決定事務事業数 事業</p> <p>決定重要事務事業数 事業</p>   |
|              | ⑥活動指標                              | <p>各種アンケート実施回数 回</p> <p>専門部会、策定委員会、審議会開催数 回</p> <p>企画調整会議開催数 回</p>  |

【DO】事務事業の実施

|                |                   |        |        |             |             |            |             |          |          |          |
|----------------|-------------------|--------|--------|-------------|-------------|------------|-------------|----------|----------|----------|
| 事業費及び指標の推移     |                   |        |        |             |             |            |             |          |          |          |
|                |                   | 事業費    | 単位     | 23年度(実績)    | 24年度(実績)    | 25年度(実績)   | 26年度(実績)    | 27年度(計画) | 28年度(計画) | 29年度(計画) |
| 投入コスト(インプット)   | 事業費               | 財源内訳   | 国庫支出金  | 千円          |             |            |             |          |          |          |
|                |                   | 県支出金   | 千円     |             |             |            |             |          |          |          |
|                |                   | 地方債    | 千円     |             |             |            |             |          |          |          |
|                |                   | その他    | 千円     |             |             |            |             |          |          |          |
|                |                   | 一般財源   | 千円     | 2,486       | 106         | 18         | 0           | 0        | 12,000   | 0        |
|                | 事業費計(ア)           | 千円     | 2,486  | 106         | 18          | 0          | 0           | 12,000   | 0        |          |
|                | 人件費               | 職員割合   | 人 千円   | 1.90 14,250 | 1.40 10,500 | 1.25 9,375 | 0.750 5,625 | 0        | 0        | 0        |
| 時間外            |                   | 千円     | 827    |             | 902         |            |             |          |          |          |
| 嘱託臨時           |                   | 千円     | 590    |             |             |            |             |          |          |          |
| 他課の協力分         |                   | 千円     |        |             |             |            |             |          |          |          |
| 人件費計(イ)        | 千円                | 15,667 | 10,500 | 10,277      | 5,625       | 0          | 0           | 0        |          |          |
| トータルコスト(ア)+(イ) | 千円                | 18,153 | 10,606 | 10,295      | 5,625       | 0          | 12,000      | 0        |          |          |
|                |                   | 指標区分   | 単位     | 23年度(実績)    | 24年度(実績)    | 25年度(実績)   | 26年度(実績)    | 27年度(目標) | 28年度(目標) | 29年度(目標) |
| 活動指標           | 各種アンケート実施回数       | 回      | 6      | 1           | 1           | 1          | 2           | 6        | 1        |          |
|                | 専門部会、策定委員会、審議会開催数 | 回      | 15     | 0           | 0           | 0          | 6           | 15       | 0        |          |
|                | 企画調整会議開催数         | 回      | 4      | 3           | 4           | 4          | 6           | 6        | 4        |          |
| 対象指標           | 職員数               | 人      | 741    | 735         | 727         | 721        | 721         | 721      | 721      |          |
|                | 市民数               | 人      | 78,862 | 78,279      | 77,723      | 77,351     | 77,351      | 77,351   | 77,351   |          |
| 成果指標           | 決定施策数             | 施策     | 49     | 0           | 0           | 0          | 0           | 30       | 0        |          |
|                | 決定事務事業数           | 事業     | 226    | 365         | 404         | 410        | 410         | 410      | 410      |          |
|                | 決定重要事務事業数         | 事業     | 23     | 87          | 78          | 90         | 90          | 90       | 90       |          |

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》  
 H23.5の地方自治法一部改正により、基本構想制定の義務付けが廃止された。今後は、その在り方について現在の計画期間が満了する平成28年度を見据え、計画の役割、名称、構成、期間等について検討を進めていく必要がある。限られた財源で最大の効果を挙げるため、選択と集中による行政改革を推進し、市政に対する市民の理解と信頼を深め、市民の実感度(満足度)を高めていくことが求められている。また、協働によるまちづくりを進めていくうえでは、的確でわかりやすい行政情報の積極的な提供を行い、課題を共有しまちづくりへの関心を高めていくことが重要となってくる。

【CHECK】事務事業の一次評価

|        |   |   |
|--------|---|---|
| 必要性評価  | ①行政関与の必要性《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》              | 本市のまちづくりの方針を定める最上位計画であり、全ての行政活動の根幹となるものである。<br>また、策定にあたり、直近の市民意識の動向を把握し、近年の情勢を背景に各施策の現況と課題を整理している。  |
|        | ②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》         |   |
| 有効性評価  | ③成果の向上余地《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》                     | 後期基本計画に掲げる施策の進行管理については、施策評価の運用が開始されている。また、3ヶ年実施計画については、事務事業評価(事業振り返り)からの連続性をもたせることで、事業の改革・改善を促進するとともに、実施事業の採択にあたっては、一定の基準を定めることで透明性と公平性を高めた。<br>以上のことから、現時点においては向上の余地はない。 |
|        | ④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》                                    |   |
| 効率性評価  | ⑤事業費の削減余地《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》                        | 共通調書は、Excel形式で管理運用しており、作業の煩雑化の一要因となっていたが、平成27年度に予定されている「事務事業マネジメントシステム」の導入により一元的な管理が可能となることから、有効かつ効率的な運用方法を構築することで、さらなる精度向上及び作業効率向上が期待できる。                                |
|        | ⑥人件費の削減余地《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》         |   |
| 一次評価結果 |   | 全体総括(振り返り、反省点)  |
| 必要性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある | 今後も、精度向上及び作業効率向上を目指し、関係各課との調整を進めていく。<br>一方で、地方自治法一部改正による基本構想制定の義務付け廃止を受けて、これまで総合計画が果たしてきた役割を整理するとともに、様々な観点からその在り方を検討していく必要がある。  |
| 有効性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある |   |
| 効率性    | <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある |   |

【ACTION】事務事業の改革・改善

|   |
|---|
| ①改革・改善案<br>実施計画内容の精度向上及び作業効率向上に向けて、「事務事業マネジメントシステム」の運用方法について、関係課と連携しながら進めていく。 |
| ②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法<br>特になし  |

フォローアップ 前年度の課題や問題点

|   |
|---|
| ③前年度の改革・改善案<br>内部管理事務支援システムを導入等を検討し、事業精度及び作業効率を向上を図る。 |
| ④取組状況<br>導入決定に向けて、システム所管課を中心に協議調整を行った。                |

その他

|   |
|---|
| ⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策<br><input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きく、問題の発生が予想される<br><input type="checkbox"/> 代替案や対策を採ることで対応できる<br>総合計画は、本市のまちづくりの方針を定める最上位計画であり、全ての行政活動の根幹となるものである。<br>よって、本事業を休廃止することは、本市の目指すべき方向性を失うこととなり、大きな混乱を招くこととなる。    |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む)<br><input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない<br><input type="checkbox"/> 他に手段がある(事務事業名・活動名)<br>名称 <input type="text"/><br><input type="checkbox"/> 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる<br><input type="checkbox"/> 統廃合や連携はできない・既に連携している |

【PLAN】事務事業の計画

|      |        |        |   |
|------|--------|--------|---|
| 総合評価 | 今後の方向性 | 改善し、継続 | 笠間市の最上位の計画であり、総合的な計画を策定し、適切な進行管理を行い、内外に情報を提供して行くことは行政運営上、重要である。 |
|      | 資源配分   | 現状維持   |   |

実施計画・事務事業評価共通調書

|       |            |
|-------|------------|
| 記入日   | 平成27年3月31日 |
| 所属部課名 | 市長公室 企画政策課 |

【PLAN】事務事業の計画 事務事業番号 2

|        |        |           |                           |       |            |        |                                       |        |  |  |  |
|--------|--------|-----------|---------------------------|-------|------------|--------|---------------------------------------|--------|--|--|--|
| 事務事業名  | 広域行政事務 | 評価区分      | 事務事業性質                    | 政策的事業 | 後期基本計画重点視点 | 補助単独区分 | 所管省庁                                  |        |  |  |  |
|        |        | 評価事業      | 重要事務事業                    | —     |            |        | 市単独                                   |        |  |  |  |
|        |        |           | 総合計画実施計画                  | ○     |            |        |                                       | 補助率    |  |  |  |
|        |        |           | 新規・継続                     | 継続    |            |        |                                       |        |  |  |  |
| 総合計画体系 | 政策     | 6         | 人と地域、絆を大切に元気なまちづくり〔自治・協働〕 | 新規・継続 | 継続         | 事業期間   |                                       |        |  |  |  |
|        | 小政策    | 3         | 自治を育み、創造的な行財政運営を推進します     | 開始年度  | 終了年度       |        |                                       |        |  |  |  |
|        | 施策     | 4         | 広域行政                      | H18   | 単年度繰返し     |        | 共催者・関係団体                              | 連携市町村等 |  |  |  |
| 小施策    | 1      | 広域連携事業の推進 |                           |       |            |        |                                       |        |  |  |  |
| 予算科目   | 会計     | 款         | 項                         | 目     | 細目名        | 関連計画   | 水戸地方拠点都市地域基本計画、公の施設の広域利用に関する協定        |        |  |  |  |
|        | 一般     | 総務費       | 総務管理費                     | 企画費   | 広域行政事務     | 根拠法令   | 地方自治法第244条の3、地方自治法第252条の2、地方拠点法第3条第1項 |        |  |  |  |
|        |        |           |                           |       |            | 実施手法   | 補助金の有無                                | 負担金の有無 |  |  |  |
|        |        |           |                           |       |            | 直営     | —                                     | ○      |  |  |  |

|   |  |                      |   |
|---|--|----------------------|---|
| 1 【事務事業の全体概要及び背景】   | 2 【H26事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】  | 3 【年度目標】             | 4 【事業費の内容(決算額)】   |
| 地域の活性化、認知度向上、イメージアップ及び業務の効率化につながるように広域的な課題に対する要望事項の調整や広域計画の策定及び推進などを図り、近隣市町村との相互支援や連携の充実・検討を進める。<br>また、県央地域首長懇話会において、定住自立圏形成に向けた調査・研究を進めていく。<br>・いばらき北関沿線地域活性化協議会<br>・水戸地方拠点都市地域整備推進協議会<br>・県央地域首長懇話会<br>・茨城空港利用促進協議会<br>・霞ヶ浦導水事業建設促進協議会<br>・県北水資源開発促進協議会 | ・各種要望活動の実施<br>・各種協議会活動の実施<br>(広域計画の策定及び推進、広域連携事業の検討及び推進)<br>・各種協議会の在り方検討<br>・一部事務組合の見直し検討<br>・定住自立圏形成に向けた調査・研究 | 公共施設相互利用者数(365,000人) | いばらき北関沿線地域活性化協議会 80千円/水戸地方拠点都市地域整備推進協議会 9千円/県央地域首長懇話会 87千円/茨城空港利用促進協議会450千円/霞ヶ浦導水事業建設促進協議会負担金 4千円 |
|   | H27事業計画  | H28事業計画              | H29事業計画   |
|   | 同上   | 同左                   | 同左  |

|              |                                   |                           |       |  |             |
|--------------|-----------------------------------|---------------------------|-------|--|-------------|
| 5 事務事業の目的と手段 |                                   |                           |       | 単位   |             |
| 目的           | ①対象(働きかける相手・もの)                   | 県央地域<br>茨城県               | ④対象指標 | 県央地域構成市町村<br>県央地域在住住民                                    | 市町村<br>人    |
|              | ②事務事業の意図(どのようにしたいのか、どういう状態にしたいのか) | 広域圏の活性化                   | ⑤成果指標 | 公共施設相互利用者数<br>広域事業・連携が行われていると感じている市民の割合<br>いばらき北関.com訪問者 | 人<br>%<br>回 |
| 手段           | ③目的を達成するために実際に行った行政活動(サービス)       | 各種協議会活動の実施<br>広域圏での各種要望活動 | ⑥活動指標 | 広報掲載数  | 回           |
|              |                                   |                           |       | 連携事業数  | 回           |
|              |                                   |                           |       | 各種イベント実施回数   | 回           |

【DO】事務事業の実施

|              |                           |         |       |          |       |          |       |          |       |          |       |          |     |          |     |          |     |     |     |
|--------------|---------------------------|---------|-------|----------|-------|----------|-------|----------|-------|----------|-------|----------|-----|----------|-----|----------|-----|-----|-----|
| 事業費及び指標の推移   |                           |         |       |          |       |          |       |          |       |          |       |          |     |          |     |          |     |     |     |
|              |                           | 事業費     | 単位    | 23年度(実績) |       | 24年度(実績) |       | 25年度(実績) |       | 26年度(実績) |       | 27年度(計画) |     | 28年度(計画) |     | 29年度(計画) |     |     |     |
| 投入コスト(インプット) | 事業費                       | 財源内訳    | 国庫支出金 | 千円       |       |          |       |          |       |          |       |          |     |          |     |          |     |     |     |
|              |                           |         | 県支出金  | 千円       |       |          |       |          |       |          |       |          |     |          |     |          |     |     |     |
|              |                           |         | 地方債   | 千円       |       |          |       |          |       |          |       |          |     |          |     |          |     |     |     |
|              |                           |         | その他   | 千円       |       |          |       |          |       |          |       |          |     |          |     |          |     |     |     |
|              |                           |         | 一般財源  | 千円       |       | 692      |       | 659      |       | 685      |       | 630      |     | 641      |     | 641      |     | 641 |     |
|              |                           | 事業費計(ア) | 千円    |          | 692   |          | 659   |          | 685   |          | 630   |          | 641 |          | 641 |          | 641 |     | 641 |
| 人件費          |                           | 職員割合    | 人 千円  | 0.23     | 1,725 | 0.23     | 1,725 | 0.20     | 1,500 | 0.300    | 2,250 |          | 0   |          | 0   |          | 0   |     |     |
|              |                           | 時間外     | 千円    |          |       |          |       |          |       |          |       |          |     |          |     |          |     |     |     |
|              |                           | 嘱託臨時    | 千円    |          |       |          |       |          |       |          |       |          |     |          |     |          |     |     |     |
|              |                           | 他課の協力分  | 千円    |          |       |          |       |          |       |          |       |          |     |          |     |          |     |     |     |
|              |                           | 人件費計(イ) | 千円    |          | 1,725 |          | 1,725 |          | 1,500 |          | 2,250 |          | 0   |          | 0   |          | 0   |     | 0   |
|              | トータルコスト(ア)+(イ)            | 千円      |       | 2,417    |       | 2,384    |       | 2,185    |       | 2,880    |       | 641      |     | 641      |     | 641      |     | 641 |     |
|              |                           | 指標区分    | 単位    | 23年度(実績) |       | 24年度(実績) |       | 25年度(実績) |       | 26年度(実績) |       | 27年度(目標) |     | 28年度(目標) |     | 29年度(目標) |     |     |     |
| 活動指標         | 広報掲載数                     | 回       |       | 3        |       | 4        |       | 5        |       | 6        |       | 7        |     | 8        |     | 9        |     |     |     |
|              | 連携事業数                     | 回       |       | 10       |       | 10       |       | 15       |       | 15       |       | 15       |     | 15       |     | 15       |     |     |     |
|              | 各種イベント実施回数                | 回       |       | 6        |       | 6        |       | 6        |       | 6        |       | 6        |     | 6        |     | 6        |     |     |     |
| 対象指標         | 県央地域構成市町村                 | 市町村     |       | 9        |       | 9        |       | 9        |       | 9        |       | 9        |     | 9        |     | 9        |     |     |     |
|              | 県央地域在住住民                  | 人       |       | 723,437  |       | 723,300  |       | 759,818  |       | 716,449  |       | 716,449  |     | 716,449  |     | 716,449  |     |     |     |
| 成果指標         | 公共施設相互利用者数                | 人       |       | 363,239  |       | 364,000  |       | 364,500  |       | 365,000  |       | 365,500  |     | 366,000  |     | 366,500  |     |     |     |
|              | 広域事業・連携が行われていると感じている市民の割合 | %       |       | 39       |       | 29       |       | 30       |       | 29       |       | 40       |     | 40       |     | 40       |     |     |     |
|              | いばらき北関.com訪問者             | 回       |       | 99,443   |       | 137,097  |       | 150,000  |       | -        |       | -        |     | -        |     | -        |     |     |     |

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》  
 国が推進する「定住自立圏構想」では、人口減少・少子高齢化社会においては、全ての市町村にフルセットの生活機能を整備することは困難となってきたため、中心市と近隣の市町村が、集約とネットワーク化の考え方に基づき、相互に役割分担し、連携・協力することにより、圏域全体で必要な生活機能を確保し、地方圏への人口定住を促進することが求められている。県内でも県境をまたいで八溝山周辺地域定住自立圏形成協定締結や、土浦市やつくば市が合併への勉強会を始めるなど、広域的な取り組みが具体化してきている。このよう中で、県央地域においても水戸市を中心とする定住自立圏形成に向けた取り組みが進めら

【CHECK】事務事業の一次評価

|        |   |  |
|--------|---|--|
| 必要性評価  | ①行政関与の必要性《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》<br>②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》 |  |
|        | <input checked="" type="checkbox"/> 適切である<br><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある   | 多様化・高度化する住民ニーズに対応するため、地域の実情や特性を生かしたに行政サービスを展開する上では、広域的な地域が連携を図り進める必要がある。             |
| 有効性評価  | ③成果の向上余地《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》<br>④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》                                   |  |
|        | <input type="checkbox"/> 向上の余地がない<br><input checked="" type="checkbox"/> 向上の余地がある   | 更なる地域間連携により、それぞれの特性を生かした行政サービスが展開できる。各協議会の趣旨や活動内容の見直しをすることで、広域的課題に対し的確な取り組みへとつなげられる。 |
| 効率性評価  | ⑤事業費の削減余地《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》<br>⑥人件費の削減余地《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》           |  |
|        | <input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地がない<br><input type="checkbox"/> 削減の余地がある   | これまで協議会負担金や事務工程について見直しを進めており、これ以上の効率化は現状では、困難である。                                    |
| 一次評価結果 |   | 全体総括(振り返り、反省点)   |
| 必要性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある   | 広域連携により、広域的な課題の検討や連携体制の充実により効率的な行政運営を図るため、今後とも必要な事業である。一方で各協議会の在り方についての検討をしていく必要がある。 |
| 有効性    | <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある   |  |
| 効率性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある   |  |

【ACTION】事務事業の改革・改善

|   |
|---|
| ①改革・改善案<br>広域連携による取り組みを進める一方で、協議会設置目的の達成や協議会を取り巻く環境変化など協議会の在り方についても、引き続き検討を進めていく。 |
| ②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法<br>特になし。   |

フォローアップ 前年度の課題や問題点

|  |
|--|
| ③前年度の改革・改善案<br>県央地域における広域連携の取り組み及び各広域連携協議会のあり方を検討していく。               |
| ④取組状況<br>あり方検討の結果「県北水資源開発促進協議会」については、設置当初の目的は十分に達成された等の意見を踏まえ解散とされた。 |

その他

|   |
|---|
| ⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策<br>影響は大きく、問題の発生が予想される代替案や対策を採ることで対応できる<br>本事業は、市域を超えた広域的課題への対応を趣旨とするものであり、今般、地域間競争が激化する一方で、地域間協調が求められている。よって、本事業を休廃止した場合には、広域連携でなければ解決できない課題への対応が不可能となる。 |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む)<br>他に手段がない<br>他に手段がある(事務事業名・活動名)<br>名称 <input type="text"/><br>他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる統廃合や連携はできない・既に連携している  |

【PLAN】事務事業の計画

|      |        |        |   |
|------|--------|--------|---|
| 総合評価 | 今後の方向性 | 改善し、継続 | より効果的・効率的な広域行政を推進する。各協議会においても協議会の在り方についての検討を引き続き進めていく必要がある。 |
|      | 資源配分   | 現状維持   |   |

実施計画・事務事業評価共通調書

|       |            |
|-------|------------|
| 記入日   | 平成27年3月31日 |
| 所属部課名 | 市長公室 企画政策課 |

【PLAN】事務事業の計画 事務事業番号 3

|        |          |                                   |          |        |            |        |          |               |  |  |  |
|--------|----------|-----------------------------------|----------|--------|------------|--------|----------|---------------|--|--|--|
| 事務事業名  | 土地利用関係事務 | 評価区分                              | 事務事業性質   | 義務的事業  | 後期基本計画重点視点 | 補助単独区分 | 所管省庁     |               |  |  |  |
|        |          | 評価外事業                             | 重要事務事業   | —      |            |        | 市単独      |               |  |  |  |
|        |          |                                   | 総合計画実施計画 | —      |            |        |          | 補助率           |  |  |  |
|        |          |                                   | 新規・継続    | 継続     |            |        |          |               |  |  |  |
| 総合計画体系 | 政策       | 1 広域交流基盤を生かした新時代のまちづくり〔土地利用・都市基盤〕 | 事業期間     | 開始年度   | 終了年度       |        | 共催者・関係団体 | 茨城県企画部水・土地計画課 |  |  |  |
|        | 小政策      | 1 交流と地域の力を高める土地利用を進めます            | H22      |        |            |        |          |               |  |  |  |
|        | 施策       | 1 土地利用                            |          | 単年度繰返し |            |        |          |               |  |  |  |
|        | 小施策      | 1 計画的な土地利用の推進                     |          |        |            |        |          |               |  |  |  |
| 予算科目   | 会計       | 款                                 | 項        | 目      | 細目名        | 関連計画   |          |               |  |  |  |
|        | -        | -                                 | -        | -      | -          | 根拠法令   | 国土利用計画法  |               |  |  |  |
|        |          |                                   |          |        |            | 実施手法   | 補助金の有無   | 負担金の有無        |  |  |  |
|        |          |                                   |          |        |            | 直営     | —        | —             |  |  |  |

|  |  |   |                 |
|--|--|---|-----------------|
| 1 【事務事業の全体概要及び背景】  | 2 【H26事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】  | 3 【年度目標】  | 4 【事業費の内容(決算額)】 |
| 国土は、現在及び将来における国民のための限られた資源であり、生活及び生産など諸活動の基盤である。健康で文化的な生活環境の確保と国土の均衡ある発展を図るため、国土利用計画法・都市計画法など土地利用関連法を遵守し、適正な運用を図る。<br>(平成22年度権限委譲) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地利用関連法の熟知</li> <li>・国土利用計画法の遵守及び適正な運用</li> <li>・関係各課及び機関との連絡調整</li> <li>・無届土地取引の把握</li> <li>・国土利用計画法届出制等の普及・啓発</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な事務の執行</li> </ul> |                 |
|  | H27事業計画  | H28事業計画   | H29事業計画         |
|  | 同上   | 同左  | 同左              |

|              |                                    |  |       |                              |        |
|--------------|------------------------------------|--|-------|------------------------------|--------|
| 5 事務事業の目的と手段 |                                    |  |       |                              | 単位     |
| 目的           | ①対象(働きかける相手・もの)                    | 土地取引届出等該当者   | ④対象指標 | 土地取引届出等該当者数                  | 人      |
|              | ②事務事業の意図(どのようにしたいのか。どのような状態にしたいのか) | 限られた国土の計画的な土地利用を図り、健康で文化的な生活環境の確保と国土の均衡ある発展に資するため、適切に事務を執行する。        | ⑤成果指標 | 土地取引届出処理件数<br>違反(期限後届出)処理件数  | 件<br>件 |
| 手段           | ③目的を達成するために実際に行った行政活動(サービス)        | ・国土利用計画法に基づく土地取引届出等事務(土地取引届出処理、無届土地取引処理)及び土地利用動向調査、地価公示、地価調査に関する調査報告 | ⑥活動指標 | 国土利用計画法関連研修会<br>関係各課及び機関連絡調整 | 回<br>回 |
|              |                                    |  |       |                              |        |

【DO】事務事業の実施

|              |                |         |       |          |      |          |      |          |       |          |   |          |   |          |   |          |   |    |
|--------------|----------------|---------|-------|----------|------|----------|------|----------|-------|----------|---|----------|---|----------|---|----------|---|----|
| 事業費及び指標の推移   |                |         |       |          |      |          |      |          |       |          |   |          |   |          |   |          |   |    |
|              |                | 事業費     | 単位    | 23年度(実績) |      | 24年度(実績) |      | 25年度(実績) |       | 26年度(実績) |   | 27年度(計画) |   | 28年度(計画) |   | 29年度(計画) |   |    |
| 投入コスト(インプット) | 事業費            | 財源内訳    | 国庫支出金 | 千円       |      |          |      |          |       |          |   |          |   |          |   |          |   |    |
|              |                | 県支出金    | 千円    |          |      |          |      |          |       |          |   |          |   |          |   |          |   |    |
|              |                | 地方債     | 千円    |          |      |          |      |          |       |          |   |          |   |          |   |          |   |    |
|              |                | その他     | 千円    |          |      |          |      |          |       |          |   |          |   |          |   |          |   |    |
|              |                | 一般財源    | 千円    |          |      |          |      |          |       |          |   |          |   |          |   |          |   |    |
|              |                | 事業費計(ア) | 千円    |          | 0    | 0        | 0    | 0        | 0     | 0        | 0 | 0        | 0 | 0        | 0 | 0        | 0 | 0  |
| 人件費          | 職員割合           | 人 千円    | 0.13  | 975      | 0.12 | 900      | 0.15 | 1,125    | 0.100 | 750      |   | 0        |   | 0        |   | 0        |   | 0  |
|              | 時間外            | 千円      |       |          |      |          |      |          |       |          |   |          |   |          |   |          |   |    |
|              | 嘱託臨時           | 千円      |       |          |      |          |      |          |       |          |   |          |   |          |   |          |   |    |
|              | 他課の協力分         | 千円      |       |          |      |          |      |          |       |          |   |          |   |          |   |          |   |    |
|              | 人件費計(イ)        | 千円      |       | 975      |      | 900      |      | 1,125    |       | 750      |   | 0        |   | 0        |   | 0        |   | 0  |
|              | トータルコスト(ア)+(イ) | 千円      |       | 975      |      | 900      |      | 1,125    |       | 750      |   | 0        |   | 0        |   | 0        |   | 0  |
|              |                | 指標区分    | 単位    | 23年度(実績) |      | 24年度(実績) |      | 25年度(実績) |       | 26年度(実績) |   | 27年度(目標) |   | 28年度(目標) |   | 29年度(目標) |   |    |
| 活動指標         | 国土利用計画法関連研修会   | 回       |       | 1        |      | 1        |      | 1        |       | 1        |   | 1        |   | 1        |   | 1        |   | 1  |
|              | 関係各課及び機関連絡調整   | 回       |       | 随時       |      | 随時       |      | 随時       |       | 随時       |   | 随時       |   | 随時       |   | 随時       |   | 随時 |
| 対象指標         | 土地取引届出等該当者数    | 人       |       | 7        |      | 24       |      | 71       |       |          |   |          |   |          |   |          |   |    |
|              |                |         |       |          |      |          |      |          |       |          |   |          |   |          |   |          |   |    |
| 成果指標         | 土地取引届出処理件数     | 件       |       | 7        |      | 21       |      | 24       |       | 28       |   |          |   |          |   |          |   |    |
|              | 違反(期限後届出)処理件数  | 件       |       | 0        |      | 3        |      | 47       |       | 9        |   | 0        |   | 0        |   | 0        |   | 0  |

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》  
 国土利用計画法に基づく土地取引届出事務等について権限移譲によりH22年度より事業を実施(執行)している。本事業では、土地取引等に関し適切な対応をするため、国土利用計画法をはじめとする土地利用関連法を熟知しなければならず、専門性が高い事業である。今後も、適切な事務を執行するため、関連法の理解に努め、関係各課及び機関との連絡調整を図っていく必要がある。

【CHECK】事務事業の一次評価

|        |   |                 |
|--------|---|-----------------|
| 必要性評価  | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》<br>②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》 |                 |
|        | <input type="checkbox"/> 適切である<br><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある  |                 |
| 有効性評価  | ③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》<br>④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》                                    |                 |
|        | <input type="checkbox"/> 向上の余地がない<br><input type="checkbox"/> 向上の余地がある  |                 |
| 効率性評価  | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》<br>⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》           |                 |
|        | <input type="checkbox"/> 削減の余地がない<br><input type="checkbox"/> 削減の余地がある  |                 |
| 一次評価結果 |   | 全体総括(振り返り, 反省点) |
| 必要性    | <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある  |                 |
| 有効性    | <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある  |                 |
| 効率性    | <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある  |                 |

【ACTION】事務事業の改革・改善

フォローアップ 前年度の課題や問題点

その他

|   |  |  |
|---|--|--|
| ①改革・改善案<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法 | ③前年度の改革・改善案<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>④取組状況 | ⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策<br><br>影響は大きく、問題の発生が予想される代替案や対策を採ることで対応できる<br><br><br><br><br><br>⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む)<br><br>他に手段がない<br>他に手段がある(事務事業名・活動名)<br><br>名称 <input style="width: 100%;" type="text"/><br><br>他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる統廃合や連携はできない・既に連携している |
|---|--|--|

【PLAN】事務事業の計画

|      |        |  |
|------|--------|--|
| 総合評価 | 今後の方向性 |  |
|      | 資源配分   |  |

実施計画・事務事業評価共通調書

【PLAN】事務事業の計画 事務事業番号 4

記入日 平成27年3月31日  
 所属部課名 市長公室 企画政策課

|        |                 |                                    |          |        |            |        |                      |  |
|--------|-----------------|------------------------------------|----------|--------|------------|--------|----------------------|--|
| 事務事業名  | デマンドタクシーかさま運行事業 | 評価区分                               | 事務事業性質   | 政策的事業  | 後期基本計画重点視点 | 補助単独区分 | 所管省庁                 |  |
|        |                 | 評価事業                               | 重要事務事業   | —      |            |        | 市単独                  |  |
|        |                 |                                    | 総合計画実施計画 | ○      | 健康づくり      |        |                      |  |
|        |                 |                                    | 新規・継続    | 継続     |            |        |                      |  |
| 総合計画体系 | 政策              | 1 広域交流基盤を生かした新時代のまちづくり [土地利用・都市基盤] | 事業期間     | 開始年度   | 終了年度       | 補助率    |                      |  |
|        | 小政策             | 2 多彩な交流・連携を支えるネットワークを形成します         | H19      | 単年度繰返し | 共催者・関係団体   | 笠間市商工会 |                      |  |
|        | 施策              | 2 公共交通                             |          |        |            |        |                      |  |
|        | 小施策             | 2 公共交通の維持確保                        |          |        |            |        |                      |  |
| 予算科目   | 会計              | 款                                  | 項        | 目      | 細目名        | 関連計画   |                      |  |
|        | 一般              | 総務費                                | 総務管理費    | 企画費    | デマンド交通事業   | 根拠法令   | 笠間市デマンドタクシー運行事業費実施要綱 |  |
|        |                 |                                    |          |        |            | 実施手法   | 補助金の有無               |  |
|        |                 |                                    |          |        |            | 一部委託   | —                    |  |
|        |                 |                                    |          |        |            |        | 負担金の有無               |  |
|        |                 |                                    |          |        |            |        | —                    |  |

|  |  |                               |                                |
|--|--|-------------------------------|--------------------------------|
| 1 【事務事業の全体概要及び背景】  | 2 【H26事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】  | 3 【年度目標】                      | 4 【事業費の内容(決算額)】                |
| 公共交通空白地域の解消や高齢者を中心とした交通弱者の医療・福祉・商業施設等へのアクセス強化、地域の活性化、市民福祉の向上を図るために、平成20年2月から運行を開始、平成21年には、デマンド交通システム運営事業業務を笠間市商工会に委託している。また、平成22年4月には従来の7エリアから3エリアに統合し、利便性の向上を図った。平成25年3月にシステム(東日本電信電話株式会社)を更新した。運送事業者は、市内タクシー事業者4社となっている。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・運營業務(運送事業を含む)</li> <li>・利用登録者管理業務</li> <li>・運行データ収集及び分析</li> <li>・チケット販売箇所の設置推進</li> <li>・利用促進に向けた各種PRの実施</li> </ul> | 運營業業者及び運送事業者と協議を進め効率的な運行を目指す。 | 委託料50,698千円<br>償還金、利子及び割引料20千円 |
|  | H27事業計画  | H28事業計画                       | H29事業計画                        |
|  | 同上   | 同左                            | 同左                             |

|              |                                   |   |
|--------------|-----------------------------------|---|
| 5 事務事業の目的と手段 |                                   | 単位  |
| 目的           | ①対象(働きかける相手・もの)                   | 市民、利用登録者  |
|              | ②事務事業の意図(どのようにしたいのか。どういう状態にしたいのか) | 市民の移動手段である公共交通の維持確保を行い利便性の向上を図る。                                      |
| 手段           | ③目的を達成するために実際に行った行政活動(サービス)       | 交通弱者の移動手段の確保により運行を実施。利便性を向上するための運行見直し                                 |
|              | ④対象指標                             | 市民(市内在住) 人<br>利用登録者数 人  |
|              | ⑤成果指標                             | 1日当たり利用者数 人<br>乗車券販売額(年間) 千円<br>利用率(年間利用者数/年間乗車可能) %                  |
|              | ⑥活動指標                             | チケット販売箇所数 箇所<br>運営・運送事業者会議 回<br>苦情等処理件数(委託先含む) 件<br>広報、掲示板、新聞等への掲載 5回 |

【DO】事務事業の実施

|                |                      |         |          |        |          |        |          |        |          |        |          |        |          |   |          |  |  |  |
|----------------|----------------------|---------|----------|--------|----------|--------|----------|--------|----------|--------|----------|--------|----------|---|----------|--|--|--|
| 事業費及び指標の推移     |                      |         |          |        |          |        |          |        |          |        |          |        |          |   |          |  |  |  |
| 事業費            |                      | 単位      | 23年度(実績) |        | 24年度(実績) |        | 25年度(実績) |        | 26年度(実績) |        | 27年度(計画) |        | 28年度(計画) |   | 29年度(計画) |  |  |  |
| 投入コスト(インプット)   | 事業費                  | 財源内訳    | 国庫支出金    | 千円     |          |        |          |        |          |        |          |        |          |   |          |  |  |  |
|                |                      |         | 県支出金     | 千円     |          |        |          |        |          |        |          |        |          |   |          |  |  |  |
|                |                      |         | 地方債      | 千円     |          |        |          |        |          |        |          |        |          |   |          |  |  |  |
|                |                      |         | その他      | 千円     |          | 13,628 |          |        |          |        |          |        |          |   |          |  |  |  |
|                |                      |         | 一般財源     | 千円     | 55,540   | 66,599 | 50,594   | 50,718 | 52,413   | 52,413 | 52,413   | 52,413 |          |   |          |  |  |  |
| 事業費計(ア)        |                      | 千円      | 69,168   | 66,599 | 50,594   | 50,718 | 52,413   | 52,413 | 52,413   | 52,413 |          |        |          |   |          |  |  |  |
| 人件費            | 人員                   | 職員割合    | 人 千円     | 0.42   | 3,150    | 0.69   | 5,175    | 0.55   | 4,125    | 0.550  | 4,125    | 0      | 0        | 0 | 0        |  |  |  |
|                |                      | 時間外     | 千円       |        | 206      |        |          |        |          |        |          |        |          |   |          |  |  |  |
|                |                      | 嘱託臨時    | 千円       |        | 590      |        |          |        |          |        |          |        |          |   |          |  |  |  |
|                |                      | 他課の協力分  | 千円       |        |          |        |          |        |          |        |          |        |          |   |          |  |  |  |
|                |                      | 人件費計(イ) | 千円       | 3,946  | 5,175    | 4,125  | 4,125    | 0      | 0        | 0      |          |        |          |   |          |  |  |  |
| トータルコスト(ア)+(イ) |                      | 千円      | 73,114   | 71,774 | 54,719   | 54,843 | 52,413   | 52,413 | 52,413   |        |          |        |          |   |          |  |  |  |
| 指標区分           |                      | 単位      | 23年度(実績) |        | 24年度(実績) |        | 25年度(実績) |        | 26年度(実績) |        | 27年度(目標) |        | 28年度(目標) |   | 29年度(目標) |  |  |  |
| 活動指標           | チケット販売箇所数            | 箇所      | 46       |        | 46       |        | 46       |        | 55       |        | 60       |        | 65       |   | 70       |  |  |  |
|                | 運営・運送事業者会議           | 回       | 1        |        | 2        |        | 2        |        | 3        |        | 3        |        | 3        |   | 3        |  |  |  |
|                | 苦情等処理件数(委託先含む)       | 件       | 56       |        | 73       |        | 43       |        | 40       |        | 35       |        | 30       |   | 25       |  |  |  |
|                | 広報、掲示板、新聞等への掲載       | 5回      | 5        |        | 5        |        | 5        |        | 8        |        | 9        |        | 10       |   | 11       |  |  |  |
| 対象指標           | 市民(市内在住)             | 人       | 78,862   |        | 78,279   |        | 77,723   |        | 77,351   |        | 77,351   |        | 77,351   |   | 77,351   |  |  |  |
|                | 利用登録者数               | 人       | 7,181    |        | 7,402    |        | 7,574    |        | 7,746    |        | 8,000    |        | 8,200    |   | 8,400    |  |  |  |
| 成果指標           | 1日当たり利用者数            | 人       | 186      |        | 191      |        | 195      |        | 205      |        | 206      |        | 210      |   | 215      |  |  |  |
|                | 乗車券販売額(年間)           | 千円      | 13,628   |        | 14,294   |        | 12,920   |        | 14,400   |        | 14,600   |        | 14,800   |   | 15,000   |  |  |  |
|                | 利用率(年間利用者数/年間乗車可能人数) | %       | 29.0     |        | 30       |        | 31       |        | 32       |        | 33       |        | 34       |   | 35       |  |  |  |

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

|   |
|---|
| <p>事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》</p> <p>高齢社会が進展する中で本事業の必要性・重要性はますます高まっており、今後ますます需要の増加に見込まれている。これと並行して、本事業の認知度や利便性を向上させる取り組みを進め利用者を増加させていく必要がある。</p> <p>また、事業の推進にあつては、路線バスやタクシー、鉄道など既存公共交通と連携をしていく必要がある。</p> |
|---|

【CHECK】事務事業の一次評価

|       |   |   |   |
|-------|---|---|---|
| 必要性評価 | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》<br>②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》 | <input checked="" type="checkbox"/> 適切である<br><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある   | 高齢者をはじめとする交通弱者に対しては必要な事業であり、今後さらに加速が予測される高齢社会に適切に対応していくうえでも必要な事業である。  |
|       | ③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》<br>④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》                                    | <input type="checkbox"/> 向上の余地がない<br><input checked="" type="checkbox"/> 向上の余地がある   | 高齢者社会の進展に比例して、需要はさらに増えるものと考えられる。利便性を高めるためにエリアや運行方法の見直しを検討する。また「デマンドタクシーかさま」のPRを的確な手法で対象者へ継続的に実施していくことで新たな利用者確保へとつなげられると考えられる。     |
| 有効性評価 | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》<br>⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》           | <input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地がない<br><input type="checkbox"/> 削減の余地がある   | 新システム構築導入に伴い年間維持管理コストを大きく縮減している。また、運送コストについては、価格不安定な原油(燃料費)や利用者が増加した場合による走行距離の増加、消費税改定など、さらなるコスト増大が予測される中にある場合は、現状、コスト削減は不可能と考える。 |
|       | 一次評価結果  | 必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある<br>有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある<br>効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある | 全体総括(振り返り、反省点)<br><br>必要性が非常に高い事業であるので、効率的な運行に努めながら継続していく。また、公共交通の充実は自家用自動車運行の抑制が図れ地球温暖化対策の一環ともなる。                                |

【ACTION】事務事業の改革・改善

|   |
|---|
| ①改革・改善案<br><br>利便性を高めるため、土曜日の試験運行を実施し、検証するとともに、エリア再編に向けた検討を進める。 |
| ②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法<br>特になし。                             |

フォローアップ 前年度の課題や問題点

|   |
|---|
| ③前年度の改革・改善案<br><br>利便性を高めるためにエリアや運行方法の見直しを検討する。また、他の公共交通との連携が図れるかも検討する。 |
| ④取組状況<br><br>地域公共交通会議において、デマンドタクシーかさまの運行に関する課題整理及び今後の方向性について合意形成を図った。   |

その他

|  |
|--|
| ⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策<br><br>影響は大きく、問題の発生が予想される代替案や対策を採ることで対応できる<br><br>高齢化社会を背景に、当面は交通弱者の増加が見込まれる。よって、廃止することは困難である。                  |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む)<br><br>他に手段がない<br>他に手段がある(事務事業名・活動名)<br><br>名称 <input type="text"/><br><br>他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる統廃合や連携はできない・既に連携している |

【PLAN】事務事業の計画

|      |        |        |  |
|------|--------|--------|--|
| 総合評価 | 今後の方向性 | 改善し、継続 | 事業の必要性は高いため、より効率的・効果的な運行を図るための事業改善を行ないながら実施していく。 |
|      | 資源配分   | 現状維持   |  |

実施計画・事務事業評価共通調書

【PLAN】事務事業の計画 事務事業番号 5

記入日 平成27年3月31日  
所属部課名 市長公室 企画政策課

|        |            |                                   |          |       |            |          |              |                        |
|--------|------------|-----------------------------------|----------|-------|------------|----------|--------------|------------------------|
| 事務事業名  | 公共交通維持確保事業 | 評価区分                              | 事務事業性質   | 政策的事業 | 後期基本計画重点視点 | 補助単独区分   | 所管省庁         |                        |
|        |            | 評価事業                              | 重要事務事業   | —     |            |          | 県補助          | 茨城県                    |
|        |            |                                   | 総合計画実施計画 | ○     |            |          | 補助率          | 市負担額の1/6               |
| 総合計画体系 | 政策         | 1 広域交流基盤を生かした新時代のまちづくり〔土地利用・都市基盤〕 | 新規・継続    | 継続    |            |          |              | JR東日本水戸支社／茨城交通(株)／JROB |
|        | 小政策        | 2 多彩な交流・連携を支えるネットワークを形成します        | 開始年度     | 終了年度  |            |          |              |                        |
|        | 施策         | 2 公共交通                            | 事業期間     | H4    | 単年度繰返し     | 共催者・関係団体 |              |                        |
|        | 小施策        | 2 公共交通の維持確保                       |          |       |            |          |              |                        |
| 予算科目   | 会計         | 款                                 | 項        | 目     | 細目名        | 関連計画     | 茨城県公共交通活性化指針 |                        |
|        | 一般         | 総務費                               | 総務管理費    | 企画費   | 公共交通対策事業   | 根拠法令     | 交通基本法        |                        |
|        |            |                                   |          |       |            | 実施手法     | 補助金の有無       | 負担金の有無                 |
|        |            |                                   |          |       | 直営         | ○        | —            |                        |

|  |  |   |   |
|--|--|---|---|
| 1 【事務事業の全体概要及び背景】  | 2 【H26事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】  | 3 【年度目標】  | 4 【事業費の内容(決算額)】   |
| <p>○路線バス運行対策費補助<br/>既存公共交通(路線バス)の維持確保を図るため、以下、3路線の運行に伴う損益に対し、補助金を交付する。損益額を抑制するため、広報周知活動により利用を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩間駅～茨城町役場間</li> <li>・友部駅～中央病院間 外2路線</li> <li>・笠間駅前～岩下入口間</li> </ul> <p>○稲田・福原駅乗車券類簡易販売業務委託<br/>稲田・福原駅の無人化防止(防犯・安全対策)及び鉄道施設の機能確保(乗車券類販売)による周辺住民の利便性を確保する。</p> <p>○高速バス「益子・笠間～秋葉原線」PR<br/>平成19年10月に廃止となった高速バスについて、震災時の臨時運行を契機に再開への気運が高まり、平成24年6月に運行が再開された。また、平成25年4月には益子町まで延伸された。<br/>以来、順調に利用者が増加している。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バスの現状と課題の整理</li> <li>・スクールバス導入に伴う補助対象路線存続の検討</li> <li>・交通事業者(茨城交通株式会社)との協議調整</li> <li>・路線バスの利用促進(広報媒体の検討及び広報周知活動)</li> <li>・交通事業者(JR東日本水戸支社及びJROB会)との協議調整</li> <li>・高速バス「益子・笠間～秋葉原線」のPR</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃止危機路線の維持確保</li> <li>・路線バス利用者数(輸送人員数)の減少抑制</li> <li>・市内駅の無人化防止</li> </ul>   | <p>補助金 8,848千円<br/>県補助金 243千円(歳入)<br/>委託料720千円</p>  |
| H27事業計画  |  | H28事業計画   | H29事業計画   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バスの現状と課題の整理</li> <li>・スクールバス導入に伴う補助対象路線存続の検討及び決定</li> <li>・交通事業者(茨城交通株式会社)との協議調整</li> <li>・路線バスの利用促進(広報媒体の検討及び広報周知活動)</li> <li>・交通事業者(JR東日本水戸支社及びJROB会)との協議調整</li> <li>・高速バス「益子・笠間～秋葉原線」のPR</li> </ul>   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バスの現状と課題の整理</li> <li>・交通事業者(茨城交通株式会社)との協議調整</li> <li>・路線バスの利用促進(広報媒体の検討及び広報周知活動)</li> <li>・交通事業者(JR東日本水戸支社及びJROB会)との協議調整</li> <li>・高速バス「益子・笠間～秋葉原線」のPR</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バスの現状と課題の整理</li> <li>・交通事業者(茨城交通株式会社)との協議調整</li> <li>・路線バスの利用促進(広報媒体の検討及び広報周知活動)</li> <li>・交通事業者(JR東日本水戸支社及びJROB会)との協議調整</li> <li>・高速バス「益子・笠間～秋葉原線」のPR</li> </ul> |

|              |                                   |  |       |                                     |              |
|--------------|-----------------------------------|--|-------|-------------------------------------|--------------|
| 5 事務事業の目的と手段 |                                   |  |       |                                     | 単位           |
| 目的           | ①対象(働きかける相手・もの)                   | 地域住民<br>交通事業者  | ④対象指標 | 市民数<br>交通事業者                        | 人<br>社       |
|              | ②事務事業の意図(どのようにしたいのか。どういう状態にしたいのか) | ・市民の移動手段である公共交通の維持確保及び利便性の向上<br>・地域づくり支える公共交通の活性化                            | ⑤成果指標 | 維持路線数<br>市内各駅の有人化率<br>輸送人員数(補助対象路線) | 路線<br>%<br>人 |
| 手段           | ③目的を達成するために実際に行った行政活動(サービス)       | ・広報周知活動による利用促進<br>・交通事業者と連携を図る<br>・路線バス運行に伴う損益に対する補助<br>・鉄道施設の機能維持(乗車券類販売委託) | ⑥活動指標 | 広報周知活動回数<br>補助路線数<br>無人化解消駅数        | 回<br>路線<br>駅 |

【DO】事務事業の実施

|              |               |                |       |            |            |            |             |          |          |          |   |  |
|--------------|---------------|----------------|-------|------------|------------|------------|-------------|----------|----------|----------|---|--|
| 事業費及び指標の推移   |               |                |       |            |            |            |             |          |          |          |   |  |
|              |               | 事業費            | 単位    | 23年度(実績)   | 24年度(実績)   | 25年度(実績)   | 26年度(実績)    | 27年度(計画) | 28年度(計画) | 29年度(計画) |   |  |
| 投入コスト(インプット) | 事業費           | 財源内訳           | 国庫支出金 | 千円         |            |            |             |          |          |          |   |  |
|              |               |                | 県支出金  | 千円         | 163        | 188        | 197         | 243      | 121      | 0        | 0 |  |
|              |               |                | 地方債   | 千円         |            |            |             |          |          |          |   |  |
|              |               |                | その他   | 千円         |            |            |             |          |          |          |   |  |
|              | 一般財源          | 千円             | 6,881 | 7,047      | 8,189      | 9,325      | 8,879       | 7,000    | 7,000    |          |   |  |
|              |               | 事業費計(ア)        | 千円    | 7,044      | 7,235      | 8,386      | 9,568       | 9,000    | 7,000    | 7,000    |   |  |
| 人件費          |               | 職員割合           | 人 千円  | 0.16 1,200 | 0.16 1,200 | 0.17 1,238 | 0.200 1,500 | 0        | 0        | 0        |   |  |
|              |               | 時間外            | 千円    |            |            |            |             |          |          |          |   |  |
|              |               | 嘱託臨時           | 千円    |            |            |            |             |          |          |          |   |  |
|              |               | 他課の協力分         | 千円    |            |            |            |             |          |          |          |   |  |
|              |               | 人件費計(イ)        | 千円    | 1,200      | 1,200      | 1,238      | 1,500       | 0        | 0        | 0        |   |  |
|              |               | トータルコスト(ア)+(イ) | 千円    | 8,244      | 8,435      | 9,624      | 11,068      | 9,000    | 7,000    | 7,000    |   |  |
|              |               | 指標区分           | 単位    | 23年度(実績)   | 24年度(実績)   | 25年度(実績)   | 26年度(実績)    | 27年度(目標) | 28年度(目標) | 29年度(目標) |   |  |
| 活動指標         | 広報周知活動回数      | 回              |       | 1          | 2          | 5          | 5           | 5        | 5        | 5        |   |  |
|              | 補助路線数         | 路線             |       | 3          | 3          | 3          | 3           | 3        | 2        | 2        |   |  |
|              | 無人化解消駅数       | 駅              |       | 2          | 2          | 2          | 2           | 2        | 2        | 2        |   |  |
| 対象指標         | 市民数           | 人              |       | 78,862     | 78,279     | 77,723     | 77,351      | 77,351   | 77,351   | 77,351   |   |  |
|              | 交通事業者         | 社              |       | 2          | 2          | 2          | 2           | 2        | 2        | 2        |   |  |
| 成果指標         | 維持路線数         | 路線             |       | 3          | 3          | 3          | 3           | 3        | 2        | 2        |   |  |
|              | 市内各駅の有人化率     | %              |       | 100        | 100        | 100        | 100         | 100      | 100      | 100      |   |  |
|              | 輸送人員数(補助対象路線) | 人              |       | 99,307     | 94,794     | 88,998     | 90,000      | 92,000   | 93,000   | 93,000   |   |  |

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》  
 近年の自家用自動車の普及を背景に、利用者が年々減少するなど路線バスの維持・確保が困難な状況となっている。年々増加する路線バスの損益額を抑制するために、利用者の増加を促すため、広報周知活動を展開していく必要がある。また、地域内の効率的な移動性を確保するため他の公共交通との連携を図るとともに、幹線道路網の整備や拠点施設整備の動向を踏まえた再編が必要となってくる。

【CHECK】事務事業の一次評価

|   |   |   |
|---|---|---|
| 必要性評価   | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》                     |   |
|   | ②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》                |   |
| 有効性評価   | <input checked="" type="checkbox"/> 適切である<br><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある   | 鉄道による隣接市町村とのアクセスや路線バスによる駅から市内の各拠点へのアクセスの手段を確保するため必要な事業である。また、公共交通に頼らなければならない利用者の利便性を確保するものである。  |
|   | ③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》                            |   |
| 効率性評価   | <input type="checkbox"/> 向上の余地がない<br><input checked="" type="checkbox"/> 向上の余地がある | 利用者の伸び悩みや減少が顕著であるため、交通事業との連携のもと継続的な広報周知活動を進める。また、路線バスについては潜在する利用の見込みを調査し、路線の見直しなどを行い、利用者の拡大を図る。   |
|   | ④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》  |   |
| 一次評価結果  | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》                               |   |
|   | ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》                |   |
| 必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある<br>有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある<br>効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある |   | 全体総括(振り返り、反省点)<br><br>市民の生活環境を高めるため必要な事業であり、また、公共交通の充実が自家用自動車運行の抑制が図れ地球温暖化対策の一環ともなる。また、本市では健康都市かさまの実現に向けた取り組みを展開しており、公共交通の活性化は市民の「歩く」を創出するものであり重要性は高いもの考える。 |

【ACTION】事務事業の改革・改善

|  |  |  |
|--|--|--|
| ①改革・改善案<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法<br>特になし。 | フォローアップ 前年度の課題や問題点<br>③前年度の改革・改善案<br>路線バスについては、現状・需要を把握し、公共交通全体を考えた中で、路線の見直し等を検討していく。<br><br>④取組状況<br>「デマンドタクシー＆路線バスマップ」を各戸配布した。友部駅～中央病院間外2路線沿線の新高校生を対象に、中学校を通してバス利用促進のチラシを配布した。有楽町駅前高速バス「益子・笠間～秋葉原線」のPRイベントを行った。区長文書にて高速バスチラシを配布した。 | その他<br>⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策<br>影響は大きく、問題の発生が予想される代替案や対策を採ることで対応できる<br>本事業は、主に、デマンドタクシーかさまの運行時間帯外や一定の需要があるルートを行う路線バスの維持確保であり、休廃止となった場合、利用者への影響が懸念される。<br><br>⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む)<br>他に手段がない<br>他に手段がある(事務事業名・活動名)<br>名称 <input type="text"/><br>他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる統廃合や連携はできない・既に連携している |
|--|--|--|

【PLAN】事務事業の計画

|      |        |        |   |
|------|--------|--------|---|
| 総合評価 | 今後の方向性 | 改善し、継続 | 市民の足の確保という点では必要性は高い事業である。しかしながら、利用者の減少、補助金額の増大といったところも見られることから、現状及び課題の把握に努め、活性化に向けた取り組みを交通事業者と連携しながら進めていく必要がある。 |
|      | 資源配分   | 現状維持   |   |

実施計画・事務事業評価共通調書

|       |            |
|-------|------------|
| 記入日   | 平成27年3月31日 |
| 所属部課名 | 市長公室 企画政策課 |

【PLAN】事務事業の計画 事務事業番号 6

|       |                            |      |                                    |        |          |       |              |        |      |  |  |  |
|-------|----------------------------|------|------------------------------------|--------|----------|-------|--------------|--------|------|--|--|--|
| 事務事業名 | 公共交通対策事業                   |      |                                    | 評価区分   | 事務事業性質   | 政策的事業 | 後期基本計画重点視点   | 補助単独区分 | 所管省庁 |  |  |  |
|       |                            |      |                                    | 評価事業   | 重要事務事業   | ○     |              |        | 市単独  |  |  |  |
|       |                            |      |                                    |        | 総合計画実施計画 | ○     |              |        |      |  |  |  |
|       | 総合計画                       | 政策   | 1 広域交流基盤を生かした新時代のまちづくり [土地利用・都市基盤] | 新規・継続  | 継続       |       | 補助率          |        |      |  |  |  |
| 小政策   | 2 多彩な交流・連携を支えるネットワークを形成します | 事業期間 | 開始年度                               | 終了年度   |          |       |              |        |      |  |  |  |
| 小施策   | 1 公共交通ネットワークの構築            |      | 不明                                 | 単年度繰返し | 共催者・関係団体 |       |              |        |      |  |  |  |
| 予算科目  | 会計                         | 款    | 項                                  | 目      | 細目名      | 関連計画  | 茨城県公共交通活性化指針 |        |      |  |  |  |
|       | 一般                         | 総務費  | 総務管理費                              | 企画費    | 公共交通対策事業 | 根拠法令  | 交通基本法        |        |      |  |  |  |
|       |                            |      |                                    |        |          | 実施手法  | 補助金の有無       | 負担金の有無 |      |  |  |  |
|       |                            |      |                                    |        |          | 直営    | —            | ○      |      |  |  |  |

|  |   |                                  |                 |
|--|---|----------------------------------|-----------------|
| 1 【事務事業の全体概要及び背景】  | 2 【H26事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】   | 3 【年度目標】                         | 4 【事業費の内容(決算額)】 |
| ○茨城県公共交通活性化会議<br>広域的連携(同一生活圏の市町村及び交通事業者)による地域公共交通の調査研究及び維持・確保・改善に向けた事業の実施<br>○常磐線・水戸線整備促進期成同盟会<br>各期成同盟会を通じた要望活動により、鉄道輸送力の増強、在来線の維持確保及び鉄道施設の利便性の向上<br>○公共交通<br>地域内の効率的な移動性を確保し活性化を図るため、公共交通の現状と課題を把握したうえで、地域にあった公共交通の指針を策定し、各公共交通の確保・改善を図る各種事業を展開する。 | ・公共交通全体の現状と課題の整理<br>・交通事業者との協議調整<br>・利用促進(広報媒体の検討及び広報周知活動)                                    | ・公共交通利用者の維持<br>・利用者増加による公共交通の活性化 | ・負担金:51千円       |
|  | H27事業計画<br>・公共交通全体の現状と課題の整理<br>・交通事業者との協議調整<br>・笠間市地域公共交通会議における合意形成<br>・利用促進(広報媒体の検討及び広報周知活動) | H28事業計画<br>同左                    | H29事業計画<br>同左   |

|              |                                   |  |       |   |               |
|--------------|-----------------------------------|--|-------|---|---------------|
| 5 事務事業の目的と手段 |                                   |  |       |   | 単位            |
| 目的           | ①対象(働きかける相手・もの)                   | 地域住民<br>笠間市地域公共交通会議<br>交通事業者                                     | ④対象指標 | 市民数<br>笠間市地域公共交通会議<br>公共交通事業者                   | 人<br>人<br>社   |
|              | ②事務事業の意図(どのようにしたいのか。どういう状態にしたいのか) | ・市民の移動手段である公共交通の維持確保及び利便性の向上<br>・地域づくり支える公共交通の活性化                | ⑤成果指標 | 市内各駅の乗降人員数<br>輸送人員数(補助対象路線)<br>デマンドタクシー利用者数(年間) | 人/日<br>人<br>人 |
| 手段           | ③目的を達成するために実際に行った行政活動(サービス)       | ・総合的な公共交通の在り方検討<br>・鉄道輸送力増強及び利便性向上(期成同盟会による要望活動)<br>・交通事業者と連携を図る | ⑥活動指標 | ノーマイカーデー実施日数                                    | 日             |
|              |                                   |  |       | 笠間市地域公共交通会議開催数                                  | 回             |

【DO】事務事業の実施

|              |                  |         |       |          |        |          |        |          |        |          |        |          |        |          |        |          |        |  |  |
|--------------|------------------|---------|-------|----------|--------|----------|--------|----------|--------|----------|--------|----------|--------|----------|--------|----------|--------|--|--|
| 事業費及び指標の推移   |                  |         |       |          |        |          |        |          |        |          |        |          |        |          |        |          |        |  |  |
|              |                  | 事業費     | 単位    | 23年度(実績) |        | 24年度(実績) |        | 25年度(実績) |        | 26年度(実績) |        | 27年度(計画) |        | 28年度(計画) |        | 29年度(計画) |        |  |  |
| 投入コスト(インプット) | 事業費              | 財源内訳    | 国庫支出金 | 千円       |        |          |        |          |        |          |        |          |        |          |        |          |        |  |  |
|              |                  |         | 県支出金  | 千円       |        |          |        |          |        |          |        |          |        |          |        |          |        |  |  |
|              |                  |         | 地方債   | 千円       |        |          |        |          |        |          |        |          |        |          |        |          |        |  |  |
|              |                  |         | その他   | 千円       |        |          |        |          |        |          |        |          |        |          |        |          |        |  |  |
|              |                  |         | 一般財源  | 千円       |        | 760      | 416    | 51       | 51     | 121      | 121    | 121      |        |          |        |          |        |  |  |
|              |                  | 事業費計(ア) | 千円    | 760      | 416    | 51       | 51     | 121      | 121    | 121      |        |          |        |          |        |          |        |  |  |
| 人件費          |                  | 職員割合    | 人 千円  | 0.16     | 1,200  | 0.16     | 1,200  | 0.28     | 2,063  | 0.200    | 1,500  |          | 0      |          | 0      |          | 0      |  |  |
|              |                  | 時間外     | 千円    |          |        |          |        |          |        |          |        |          |        |          |        |          |        |  |  |
|              |                  | 嘱託臨時    | 千円    |          | 148    |          |        |          |        |          |        |          |        |          |        |          |        |  |  |
|              |                  | 他課の協力分  | 千円    |          |        |          |        |          |        |          |        |          |        |          |        |          |        |  |  |
|              |                  | 人件費計(イ) | 千円    | 1,348    | 1,200  | 2,063    | 1,500  | 0        | 0      | 0        |        |          |        |          |        |          |        |  |  |
|              | トータルコスト(ア)+(イ)   | 千円      | 2,108 | 1,616    | 2,114  | 1,551    | 121    | 121      | 121    |          |        |          |        |          |        |          |        |  |  |
|              |                  | 指標区分    | 単位    | 23年度(実績) |        | 24年度(実績) |        | 25年度(実績) |        | 26年度(実績) |        | 27年度(目標) |        | 28年度(目標) |        | 29年度(目標) |        |  |  |
| 活動指標         | ノーマイカーデー実施日数     | 日       |       | 14       | 14     | 14       | 14     | 14       | 14     | 14       | 14     | 14       | 14     | 14       | 14     | 14       | 14     |  |  |
|              | 笠間市地域公共交通会議開催数   | 回       |       | 1        | 0      | 0        | 0      | 0        | 0      | 1        | 1      | 1        | 1      | 1        | 1      | 1        | 1      |  |  |
| 対象指標         | 市民数              | 人       |       | 78,862   | 78,862 | 77,723   | 77,723 | 77,723   | 77,723 | 77,723   | 77,723 | 77,723   | 77,723 | 77,723   | 77,723 | 77,723   | 77,723 |  |  |
|              | 笠間市地域公共交通会議      | 人       |       | 22       | 22     | 22       | 22     | 22       | 22     | 22       | 22     | 22       | 22     | 22       | 22     | 22       | 22     |  |  |
|              | 公共交通事業者          | 社       |       | 5        | 5      | 5        | 5      | 5        | 5      | 5        | 5      | 5        | 5      | 5        | 5      | 5        | 5      |  |  |
| 成果指標         | 市内各駅の乗降人員数       | 人/日     |       | 7,100    | 7,050  | 6,930    | 6,830  | 6,740    | 6,670  |          |        |          |        |          |        |          |        |  |  |
|              | 輸送人員数(補助対象路線)    | 人       |       | 99,307   | 94,794 | 88,998   | 96,000 | 93,000   | 96,000 | 96,000   | 96,000 | 96,000   | 96,000 | 96,000   | 96,000 | 96,000   | 96,000 |  |  |
|              | デマンドタクシー利用者数(年間) | 人       |       | 44,904   | 45,953 | 47,500   | 48,500 | 49,500   | 50,500 | 51,000   |        |          |        |          |        |          |        |  |  |

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》  
 本格的な人口減少、少子高齢化社会の到来や環境・エネルギー問題など社会情勢の変化により、公共交通の重要性・必要性は、これまで以上に高まっている。また、県では、県民の移動確保や地域づくりを支える公共交通の活性化の観点から「茨城県公共交通活性化指針」が策定されるなど公共交通を取り巻く環境は刻々と変化している。今後、市民生活の「足」となる公共交通を確保し、かつ、利用しやすい公共交通サービスを持続的に提供していくため、また市街地の活性化を図る上でも、重要な要素のひとつとして、新たな公共交通網の構築が求められている。

【CHECK】事務事業の一次評価

|        |   |  |
|--------|---|--|
| 必要性評価  | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》             | 高齢化や環境・エネルギー問題など社会情勢の変化により、公共交通の重要性・必要性は、これまで以上に高まっており、より効率的な公共交通体系を確立するための対策は必要である。         |
|        | ②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》        |  |
| 有効性評価  | ③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》                    | 市民の生活環境を高めるため、移動手段を確保する公共交通体系の確立は必要不可欠なものである。市街地の活性化を図る上でも、重要な要素のひとつとして、新たな公共交通網の構築が求められている。 |
|        | ④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》                                    |  |
| 効率性評価  | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》                       | 利用しやすい公共交通サービスを持続的に提供していくため、新たな公共交通網の構築を視野に入れた検討を進めていく必要があるため、公共交通会議を随時開催し、検討していくことが必要。      |
|        | ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》        |  |
| 一次評価結果 |   | 全体総括(振り返り、反省点)   |
| 必要性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある | 市民の生活環境を高めるため、各公共交通機関が連携を図り効率的な公共交通網の確立を図っていく。   |
| 有効性    | <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある |  |
| 効率性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある |  |

【ACTION】事務事業の改革・改善

|  |
|--|
| ①改革・改善案<br>調査結果をもとに、交通事業者と連携しながら利用される公共交通網の構築を目指す。 |
| ②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法<br>特になし。                |

フォローアップ 前年度の課題や問題点

|  |
|--|
| ③前年度の改革・改善案<br>平成26年度に市内全域の交通量や人の流れ、潜在需要の調査結果をもとに、交通事業者と連携しながら利用される公共交通網の構築を目指す。 |
| ④取組状況<br>交通関連の基礎的な調査を行った。  |

その他

|  |
|--|
| ⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策<br>影響は大きく、問題の発生が予想される代替案や対策を採ることで対応できる  |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む)<br>他に手段がない<br>他に手段がある(事務事業名・活動名)<br>名称 <input type="text"/><br>他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる統廃合や連携はできない・既に連携している |

【PLAN】事務事業の計画

|      |        |        |                      |
|------|--------|--------|----------------------|
| 総合評価 | 今後の方向性 | 改善し、継続 | 市民生活環境の向上を図るため必要である。 |
|      | 資源配分   | 現状維持   |                      |



社会情勢の変化・市民ニーズの把握

|   |
|---|
| 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》<br>少子化, 高齢化及び人口減少の中での持続可能なまちづくりという課題そのものに変化はない。 |
|---|

【CHECK】事務事業の一次評価

|  |   |
|--|---|
| 必要性評価  | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて, 行政の範囲は行政の役割から見て適切か? また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》<br>②総合計画との整合性, 対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか? 実態(社会環境の変化)に合っているか?》 |
|  | <input type="checkbox"/> 適切である<br><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある  |
| 有効性評価  | ③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比べてどうであったか? 工夫をすることで今後, 更なる成果向上ができるか?》<br>④成果の波及効果《全市民, または多くの市民や他の施策への波及効果があるか?》                                    |
|  | <input type="checkbox"/> 向上の余地がない<br><input type="checkbox"/> 向上の余地がある  |
| 効率性評価  | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の見直し, 市民の協力など)》<br>⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか? (業務プロセスの見直し, 個々の業務の効率化等, 業務委託や臨時雇用等)》          |
|  | <input type="checkbox"/> 削減の余地がない<br><input type="checkbox"/> 削減の余地がある  |
| 一次評価結果   |   |
| 全体総括(振り返り, 反省点)  |   |
| 必要性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある<br>有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある<br>効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある |   |

【ACTION】事務事業の改革・改善

|                            |
|----------------------------|
| ①改革・改善案                    |
| ②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法 |

フォローアップ 前年度の課題や問題点

|             |
|-------------|
| ③前年度の改革・改善案 |
| ④取組状況       |

その他

|   |
|---|
| ⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響の有無とその対策<br>影響は大きく, 問題の発生が予想される代替案や対策を採ることで対応できる   |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む)<br>他に手段がない<br>他に手段がある(事務事業名・活動名)<br>名称 <input type="text"/><br>他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる<br>統廃合や連携はできない・既に連携している |

【PLAN】事務事業の計画

|      |        |  |
|------|--------|--|
| 総合評価 | 今後の方向性 |  |
|      | 資源配分   |  |



社会情勢の変化・市民ニーズの把握

|   |
|---|
| <p>事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》</p> <p>当該地の利活用は、合併前からの課題であったが、暫定利用をはじめとした取組みの結果として、県事業(新市町村づくり支援事業)で着手した雨水排水処理施設の整備事業が今年度中に完成する予定となっている。本格的な利活用を進める条件整備が整ってきている。</p> |
|---|

【CHECK】事務事業の一次評価

|       |   |   |  |
|-------|---|---|--|
| 必要性評価 | ①行政関与の必要性《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》<br>②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》 | <input checked="" type="checkbox"/> 適切である<br><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある   | 未利用公有地の利活用は、適正な土地利用を図る上でも重要である。畜産試験場跡地の地域の活性化や利便性の向上に繋がる利活用は、長年の課題であった。                                |
|       | ③成果の向上余地《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》<br>④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》                                   | <input checked="" type="checkbox"/> 向上の余地がない<br><input type="checkbox"/> 向上の余地がある   | 雨水排水施設整備事業が進められており、並行して所有者である茨城県とともに企業等の誘致活動を行っている。  |
| 有効性評価 | ⑤事業費の削減余地《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》<br>⑥人件費の削減余地《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》           | <input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地がない<br><input type="checkbox"/> 削減の余地がある   | 早期の利活用を推進する必要がある。  |
|       | 一次評価結果  | 必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある<br>有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある<br>効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある | 全体総括(振り返り、反省点)<br><br>雨水排水施設整備の実施設計に時間を要したが、平成27年度中の完了に向けて具体的な工事が進められている。早期の利活用に向け、茨城県と協議等を行いながら進めていく。 |

【ACTION】事務事業の改革・改善

|                            |
|----------------------------|
| ①改革・改善案<br>特になし            |
| ②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法 |

フォローアップ 前年度の課題や問題点

|   |
|---|
| ③前年度の改革・改善案<br>県及び市の関係部局との連絡調整を強化する。          |
| ④取組状況<br>関係部局と、適宜連絡調整会議を実施し、積極的に情報交換等を実施している。 |

その他

|   |
|---|
| ⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策<br>影響は大きく、問題の発生が予想される代替案や対策を採ることで対応できる<br>今後のまちづくりにおいて重要となる大規模な公有地であるが、事務事業を廃止した場合、利活用を促進することができなくなる。              |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む)<br>他に手段がない<br>他に手段がある(事務事業名・活動名)<br>名称 <input type="text"/><br>他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる統廃合や連携はできない・既に連携している<br>他事業に関連がないため |

【PLAN】事務事業の計画

|      |        |         |                        |
|------|--------|---------|------------------------|
| 総合評価 | 今後の方向性 | 現行どおり継続 | 早期の利活用に向け、今後も継続して実施する。 |
|      | 資源配分   | 現状維持    |                        |



社会情勢の変化・市民ニーズの把握

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》  
 トップマネジメントの補完, 横断的な調整や情報の共有の重要性には大きな変化はない。ただし, 政策調整会議を含めた会議そのもののあり方については, 再検討を行う必要がある。

【CHECK】事務事業の一次評価

|                 |   |
|-----------------|---|
| 必要性評価           | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて, 行政の範囲は行政の役割から見て適切か? また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》       |
|                 | ②総合計画との整合性, 対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか? 実態(社会環境の変化)に合っているか?》  |
| 有効性評価           | ③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比べてどうであったか? 工夫をすることで今後, 更なる成果向上ができるか?》             |
|                 | ④成果の波及効果《全市民, または多くの市民や他の施策への波及効果があるか?》                               |
| 効率性評価           | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の見直し, 市民の協力など)》                 |
|                 | ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか? (業務プロセスの見直し, 個々の業務の効率化等, 業務委託や臨時雇用等)》 |
| 一次評価結果          |   |
| 全体総括(振り返り, 反省点) |   |
| 必要性             | <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある        |
| 有効性             | <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある        |
| 効率性             | <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある        |

【ACTION】事務事業の改革・改善

|                            |
|----------------------------|
| ①改革・改善案                    |
| ②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法 |

フォローアップ 前年度の課題や問題点

|             |
|-------------|
| ③前年度の改革・改善案 |
| ④取組状況       |

その他

|  |
|--|
| ⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響の有無とその対策          |
| 影響は大きく, 問題の発生が予想される代替案や対策を採ることで対応できる     |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む)              |
| 他に手段がない<br>他に手段がある(事務事業名・活動名)            |
| 名称 <input type="text"/>                  |
| 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる統廃合や連携はできない・既に連携している |

【PLAN】事務事業の計画

|      |        |  |
|------|--------|--|
| 総合評価 | 今後の方向性 |  |
|      | 資源配分   |  |



社会情勢の変化・市民ニーズの把握

|   |
|---|
| 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》<br>厳しい雇用環境に加え、東日本大震災による影響に対する救済事業として継続している。なお、必要性は高い事業となっている。 |
|---|

【CHECK】事務事業の一次評価

|  |   |
|--|---|
| 必要性評価  | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》<br>②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》 |
|  | <input type="checkbox"/> 適切である<br><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある  |
| 有効性評価  | ③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》<br>④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》                                    |
|  | <input type="checkbox"/> 向上の余地がない<br><input type="checkbox"/> 向上の余地がある  |
| 効率性評価  | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》<br>⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》           |
|  | <input type="checkbox"/> 削減の余地がない<br><input type="checkbox"/> 削減の余地がある  |
| 一次評価結果   |   |
| 必要性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある<br>有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある<br>効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある | 全体総括(振り返り, 反省点)<br><br>補助申請, 処理のみの業務となっているため, 評価は各事業担当課で実施。   |

【ACTION】事務事業の改革・改善

|                            |
|----------------------------|
| ①改革・改善案                    |
| ②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法 |

フォローアップ 前年度の課題や問題点

|             |
|-------------|
| ③前年度の改革・改善案 |
| ④取組状況       |

その他

|   |
|---|
| ⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響の有無とその対策<br><br>影響は大きく, 問題の発生が予想される代替案や対策を採ることで対応できる   |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む)<br><br>他に手段がない<br>他に手段がある(事務事業名・活動名)<br>名称 <input type="text"/><br><br>他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる<br>統廃合や連携はできない・既に連携している |

【PLAN】事務事業の計画

|      |        |         |  |
|------|--------|---------|--|
| 総合評価 | 今後の方向性 | 現行どおり継続 | 被災地域で進められている事業であり、一定の求人を創出しており、雇用環境の向上に寄与している。 |
|      | 資源配分   | 現状維持    |  |



社会情勢の変化・市民ニーズの把握

|  |
|--|
| 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》<br>個人情報保護の思想が強くなり、調査対象者への調査協りに困難を要する環境にあるため、調査拒否・調査票記入拒否などが増加している。 |
|--|

【CHECK】事務事業の一次評価

|        |   |  |
|--------|---|--|
| 必要性評価  | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》<br>②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》 | いずれの調査についても統計法に基づき実施しており、市民からなる統計調査員に統計調査を依頼し、市は調査票の内容審査・集計を行い県に提出するという役割になっている。 |
|        | <input checked="" type="checkbox"/> 適切である<br><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある   |  |
| 有効性評価  | ③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》<br>④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》                                    | 各種統計調査の結果が集約されたデータが、国や自治体において政策立案の際に必要となる基礎資料となっている。                             |
|        | <input checked="" type="checkbox"/> 向上の余地がない<br><input type="checkbox"/> 向上の余地がある   |  |
| 効率性評価  | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》<br>⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》           | 統計法に基づき、国の基準による委託費100%で実施している。   |
|        | <input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地がない<br><input type="checkbox"/> 削減の余地がある   |  |
| 一次評価結果 |   | 全体総括(振り返り、反省点)   |
| 必要性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある   | 法律に基づくもので、現行のまま実施する。   |
| 有効性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある   |  |
| 効率性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある   |  |

【ACTION】事務事業の改革・改善

|                                    |
|------------------------------------|
| ①改革・改善案                            |
| ②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法<br>特になし |

フォローアップ 前年度の課題や問題点

|               |
|---------------|
| ③前年度の改革・改善案   |
| ④取組状況<br>特になし |

その他

|   |
|---|
| ⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策<br><br>影響は大きく、問題の発生が予想される代替案や対策を採ることで対応できる   |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む)<br><br>他に手段がない<br>他に手段がある(事務事業名・活動名)<br>名称 <input type="text"/><br><br>他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる統廃合や連携はできない・既に連携している |

【PLAN】事務事業の計画

|      |        |         |   |
|------|--------|---------|---|
| 総合評価 | 今後の方向性 | 現行どおり継続 | 統計法に基づく調査で、国の主要施策の企画・立案・推進のため重要であるため現行どおりとする。 |
|      | 資源配分   | 現状維持    |   |

実施計画・事務事業評価共通調書

|       |            |
|-------|------------|
| 記入日   | 平成27年3月31日 |
| 所属部課名 | 市長公室 企画政策課 |

【PLAN】事務事業の計画 事務事業番号 12

|       |             |      |                              |         |            |        |          |         |
|-------|-------------|------|------------------------------|---------|------------|--------|----------|---------|
| 事務事業名 | 統計調査員確保対策事業 | 評価区分 | 事務事業性質                       | 義務的事業   | 後期基本計画重点視点 | 補助単独区分 | 所管省庁     |         |
|       |             | 評価事業 | 重要事務事業                       | —       |            |        | 県補助      | 茨城県     |
| 総合計画系 | 政策          | 6    | 人と地域、絆を大切にしたい元気なまちづくり〔自治・協働〕 | 新規・継続   | 継続         | 補助率    | 県基準による   |         |
|       | 小政策         | 3    | 自治を育み、創造的な行財政運営を推進します        | 開始年度    | 終了年度       |        |          |         |
|       | 施策          | 2    | 行政運営                         | H18     | 継続的事業      |        | 共催者・関係団体 | 笠間市統計協会 |
| 予算科目  | 会計          | 款    | 項                            | 目       | 細目名        | 関連計画   |          |         |
|       | 一般          | 総務費  | 統計調査費                        | 統計調査総務費 | 統計調査標準的事業  | 根拠法令   |          |         |
|       |             |      |                              |         |            | 実施手法   | 補助金の有無   | 負担金の有無  |
|       |             |      |                              |         |            | 直営     | ○        | —       |

|  |  |   |   |
|--|--|---|---|
| 1 【事務事業の全体概要及び背景】  | 2 【H26事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】  | 3 【年度目標】  | 4 【事業費の内容(決算額)】   |
| 統計法で定められている統計調査を円滑に実施するためには、調査員の確保が前提となり、その調査内容の精度を高めるためには調査員の資質向上が欠かせない。統計協会を設立することで、調査員として登録する会員を確保し、事業実施により調査員の意識の高揚、質の向上を図ることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>調査員を確保するため、各行政区に1名以上の調査員登録を整備する。また、統計調査員の公募により増員を図る。</li> <li>統計知識を高めるため、統計書を作成し登録調査員に配布する。</li> <li>統計調査への意欲促進に繋げるため、視察研修、功労者表彰を実施する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>登録調査員数：319人</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>職員手当 252千円</li> <li>報償費 12千円</li> <li>旅費 17千円</li> <li>負担金補助金 537千円</li> </ul> |
|  | H27事業計画  | H28事業計画   | H29事業計画   |
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>調査員を確保するため、各行政区に1名以上の調査員登録を整備する。また、統計調査員の公募により増員を図る。</li> <li>統計知識を高めるため、統計書を作成し登録調査員に配布する。</li> <li>統計調査への意欲促進に繋げるため、視察研修、功労者表彰を実施する。</li> </ul> | 左に同じ  | 左に同じ  |

|              |                                  |   |          |   |
|--------------|----------------------------------|---|----------|---|
| 5 事務事業の目的と手段 |                                  |   | 単位       |   |
| 目的           | ①対象(働きかける相手・もの)                  | 市民  | ④対象指標    |   |
|              | ②事務事業の意図(どのようにしたいのか。どうい状態にしたいのか) | 調査員の高齢化や地域的な偏りが生じないよう、地域の協力の下、適正な人員を確保                      | ⑤成果指標    |   |
| 手段           | ③目的を達成するために実際に行った行政活動(サービス)      | 近年の調査員任命の変化(1調査員が複数の調査区を担当する)に対応できるよう自薦の者の登録も推奨し、登録調査員制度を整備 | ⑥活動指標    |   |
|              |                                  |   | 視察研修参加人数 | 人 |
|              |                                  |   | 功労表彰者数   | 人 |

【DO】事務事業の実施

|                |          |      |       |          |       |          |       |          |       |          |      |          |      |          |  |          |   |  |
|----------------|----------|------|-------|----------|-------|----------|-------|----------|-------|----------|------|----------|------|----------|--|----------|---|--|
| 事業費及び指標の推移     |          |      |       |          |       |          |       |          |       |          |      |          |      |          |  |          |   |  |
|                |          | 事業費  | 単位    | 23年度(実績) |       | 24年度(実績) |       | 25年度(実績) |       | 26年度(実績) |      | 27年度(計画) |      | 28年度(計画) |  | 29年度(計画) |   |  |
| 投入コスト(インプット)   | 事業費      | 財源内訳 | 国庫支出金 | 千円       |       |          |       |          |       |          |      |          |      |          |  |          |   |  |
|                |          | 県支出金 | 千円    |          | 24    | 23       | 24    | 23       | 24    | 24       | 24   |          |      |          |  |          |   |  |
|                |          | 地方債  | 千円    |          |       |          |       |          |       |          |      |          |      |          |  |          |   |  |
|                |          | その他  | 千円    |          |       |          |       |          |       |          |      |          |      |          |  |          |   |  |
|                |          | 一般財源 | 千円    |          | 451   | 452      | 451   | 795      | 625   | 625      | 625  |          |      |          |  |          |   |  |
|                | 事業費計(ア)  | 千円   |       | 475      | 475   | 475      | 818   | 649      | 649   | 649      |      |          |      |          |  |          |   |  |
| 人件費            | 職員割合     | 人 千円 | 0.18  | 1,350    | 0.18  | 1,350    | 0.18  | 1,350    | 0.600 | 4,500    | 0.60 | 4,500    | 0.18 | 1,350    |  |          | 0 |  |
|                | 時間外      | 千円   |       |          |       |          |       |          |       |          |      |          |      |          |  |          |   |  |
|                | 嘱託臨時     | 千円   |       |          |       |          |       |          |       |          |      |          |      |          |  |          |   |  |
|                | 他課の協力分   | 千円   |       |          |       |          |       |          |       |          |      |          |      |          |  |          |   |  |
|                | 人件費計(イ)  | 千円   |       | 1,350    | 1,350 | 1,350    | 4,500 | 4,500    | 1,350 | 0        |      |          |      |          |  |          |   |  |
| トータルコスト(ア)+(イ) |          | 千円   |       | 1,825    | 1,825 | 1,825    | 5,318 | 5,149    | 1,999 | 649      |      |          |      |          |  |          |   |  |
|                |          | 指標区分 | 単位    | 23年度(実績) |       | 24年度(実績) |       | 25年度(実績) |       | 26年度(実績) |      | 27年度(目標) |      | 28年度(目標) |  | 29年度(目標) |   |  |
| 活動指標           | 視察研修参加人数 | 人    |       | 103      | 100   | 100      | 108   | 110      | 110   | 110      |      |          |      |          |  |          |   |  |
|                | 功労表彰者数   | 人    |       | 15       | 46    | 23       | 46    | 30       | 30    | 30       |      |          |      |          |  |          |   |  |
| 対象指標           | 行政区数     | 行政区  |       | 320      | 320   | 320      | 320   | 320      | 320   | 320      |      |          |      |          |  |          |   |  |
|                | 登録者数     | 人    |       | 307      | 314   | 317      | 319   | 320      | 320   | 320      |      |          |      |          |  |          |   |  |

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》  
 個人情報保護の思想が強くなったことに伴い、統計調査環境が悪化しているため、調査員選出には困難を要する。  
 合併による調査区の増大により、調査員の選任に苦慮していたため、各行政区からの推薦による登録調査員制度を活用することで、効率的に調査事務を進められる。

【CHECK】事務事業の一次評価

|        |   |   |
|--------|---|---|
| 必要性評価  | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》<br>②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》 | 行政の業務である調査員選出を効率的に実施するために活用する登録調査員制度である。  |
|        | <input checked="" type="checkbox"/> 適切である<br><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある   |   |
| 有効性評価  | ③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》<br>④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》                                    | 調査員選出がスムーズに進む。更には、統計協会の事業を実施することにより、調査員の資質向上、統計思想の普及に繋げることができる。現在、公募により自主的に統計調査をやりたい調査員の拡充に力を入れている。 |
|        | <input checked="" type="checkbox"/> 向上の余地がない<br><input type="checkbox"/> 向上の余地がある   |   |
| 効率性評価  | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》<br>⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》           | 調査範囲が広くなり、国基準の報酬も減額されているような調査環境悪化の中で、調査員を確保するための事業は削減することができない。                                     |
|        | <input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地がない<br><input type="checkbox"/> 削減の余地がある   |   |
| 一次評価結果 |   | 全体総括(振り返り、反省点)  |
| 必要性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある   | 統計調査事務を効率的に進めるためであり、事業として必要不可欠である。  |
| 有効性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある   |   |
| 効率性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある   |   |

【ACTION】事務事業の改革・改善

|                                    |
|------------------------------------|
| ①改革・改善案                            |
| ②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法<br>特になし |

フォローアップ 前年度の課題や問題点

|               |
|---------------|
| ③前年度の改革・改善案   |
| ④取組状況<br>特になし |

その他

|  |
|--|
| ⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策<br>影響は大きく、問題の発生が予想される代替案や対策を採ることで対応できる  |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む)<br>他に手段がない<br>他に手段がある(事務事業名・活動名)<br>名称 <input type="text"/><br>他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる統廃合や連携はできない・既に連携している |

|      |        |         |  |
|------|--------|---------|--|
| 総合評価 | 今後の方向性 | 現行どおり継続 | 統計調査において調査員の確保及び意識の高揚、質の向上は大変重要であるため現行どおりとする |
|      | 資源配分   | 現状維持    |  |



社会情勢の変化・市民ニーズの把握

|   |
|---|
| 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》<br>総合計画の進行管理にあたり、数値的根拠の重要性が増している。 |
|---|

【CHECK】事務事業の一次評価

|  |   |
|--|---|
| 必要性評価  | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》<br>②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》 |
|  | <input type="checkbox"/> 適切である<br><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある  |
| 有効性評価  | ③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》<br>④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》                                    |
|  | <input type="checkbox"/> 向上の余地がない<br><input type="checkbox"/> 向上の余地がある  |
| 効率性評価  | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》<br>⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》           |
|  | <input type="checkbox"/> 削減の余地がない<br><input type="checkbox"/> 削減の余地がある  |
| 一次評価結果   |   |
| 全体総括(振り返り, 反省点)  |   |
| 必要性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある |   |
| 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある |   |
| 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある |   |

【ACTION】事務事業の改革・改善

フォローアップ 前年度の課題や問題点

その他

|   |  |  |
|---|--|--|
| ①改革・改善案<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法 | ③前年度の改革・改善案<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>④取組状況 | ⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策<br><br>影響は大きく、問題の発生が予想される代替案や対策を採ることで対応できる<br><br><br><br><br><br>⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む)<br><br>他に手段がない<br>他に手段がある(事務事業名・活動名)<br>名称 <input type="text"/><br><br>他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる<br>統廃合や連携はできない・既に連携している |
|---|--|--|

【PLAN】事務事業の計画

|      |        |         |  |
|------|--------|---------|--|
| 総合評価 | 今後の方向性 | 現行どおり継続 |  |
|      | 資源配分   | 現状維持    |  |

実施計画・事務事業評価共通調書

|       |            |
|-------|------------|
| 記入日   | 平成27年3月31日 |
| 所属部課名 | 市長公室 企画政策課 |

【PLAN】事務事業の計画 事務事業番号 14

|  |            |                               |                              |                       |                  |                       |                     |        |  |  |
|--|------------|-------------------------------|------------------------------|-----------------------|------------------|-----------------------|---------------------|--------|--|--|
| 事務事業名  | ふるさと創生基金事業 |                               | 評価区分                         | 事務事業性質                | 政策的事業            | 後期基本計画重点視点            | 補助単独区分              | 所管省庁   |  |  |
|  |            |                               | 評価外事業                        | 重要事務事業                |                  |                       |                     |        |  |  |
|  |            |                               |                              | 総合計画実施計画              | 新規・継続            | 継続                    |                     | 補助率    |  |  |
|  |            |                               |                              |                       | 開始年度             | 終了年度                  |                     |        |  |  |
| 総合計画体系   | 政策         | 6                             | 人と地域、絆を大切にしたい元気なまちづくり〔自治・協働〕 | 事業期間                  | H17<br>(一部H23)   |                       | 共催者・関係団体            |        |  |  |
|  | 小政策        | 3                             | 自治を育み、創造的な行財政運営を推進します        |                       |                  |                       |                     |        |  |  |
|  | 施策         | 3                             | 財政運営                         |                       |                  |                       |                     |        |  |  |
|  | 小施策        | 2                             | 財源の確保                        |                       |                  |                       |                     |        |  |  |
| 予算科目   | 会計         | 款                             | 項                            | 目                     | 細目名              | 関連計画                  |                     |        |  |  |
|  | 一般         | 総務費                           | 総務管理費                        | 企画費                   | ふるさと創生基金事業       | 根拠法令                  | ふるさと創生基金条例          |        |  |  |
|  |            |                               |                              |                       |                  | 実施手法                  | 補助金の有無              | 負担金の有無 |  |  |
|  |            |                               |                              |                       |                  | 直営                    | —                   | —      |  |  |
| 1 【事務事業の全体概要及び背景】  |            | 2 【H26事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】 |                              |                       | 3 【年度目標】         |                       | 4 【事業費の内容(決算額)】     |        |  |  |
| 旧3市町の持寄り金を原資として設置した基金である。恵まれた自然を生かし、誇りと愛着の持てる「ふるさと笠間市」を自主的・主体的に築き上げる事業に活用する。 |            | 基金積立<br>活用する事業の検討             |                              |                       | 基金積立<br>基金の適切な管理 |                       | ふるさと創生基金積立<br>261千円 |        |  |  |
|  |            | H27事業計画                       |                              | H28事業計画               |                  | H29事業計画               |                     |        |  |  |
|  |            | 基金積立<br>活用する事業の検討             |                              | 基金積立<br>活用する事業の検討及び調整 |                  | 基金積立<br>活用する事業の検討及び調整 |                     |        |  |  |

|              |                                   |  |  |               |               |               |
|--------------|-----------------------------------|--|--|---------------|---------------|---------------|
| 5 事務事業の目的と手段 |                                   |  |  |               | 単位            |               |
| 目的           | ①対象<br>(働きかける相手・もの)               | 市民、基金数   |  | ④<br>対象<br>指標 | 市民<br>基金数     | 人<br>件        |
|              | ②事務事業の意図(どのようにしたいのか。どういう状態にしたいのか) | 地域の振興を図る各種事業に活用するため、その原資となる基金を積み立てるとともに、適切に管理していく。 |  |               | ⑤<br>成果<br>指標 | 活用事業数<br>基金残高 |
| 手段           | ③目的を達成するために実際に行った行政活動(サービス)       | ふるさと創生基金の積立<br>ふるさと創生基金の取崩                         |  | ⑥<br>活動<br>指標 | 積立額<br>取崩額    | 円<br>円        |
|              |                                   |  |  |               |               |               |

【DO】事務事業の実施

|                  |       |      |             |      |             |     |             |     |             |     |             |    |             |   |             |   |  |  |
|------------------|-------|------|-------------|------|-------------|-----|-------------|-----|-------------|-----|-------------|----|-------------|---|-------------|---|--|--|
| 事業費及び指標の推移       |       |      |             |      |             |     |             |     |             |     |             |    |             |   |             |   |  |  |
| 事業費              |       | 単位   | 23年度(実績)    |      | 24年度(実績)    |     | 25年度(実績)    |     | 26年度(実績)    |     | 27年度(計画)    |    | 28年度(計画)    |   | 29年度(計画)    |   |  |  |
| 投入コスト<br>(インプット) | 事業費   | 財源内訳 | 国庫支出金       | 千円   |             |     |             |     |             |     |             |    |             |   |             |   |  |  |
|                  |       |      | 県支出金        | 千円   |             |     |             |     |             |     |             |    |             |   |             |   |  |  |
|                  |       |      | 地方債         | 千円   |             |     |             |     |             |     |             |    |             |   |             |   |  |  |
|                  |       |      | その他         | 千円   |             | 911 | 728         | 660 | 261         | 72  | 72          | 72 |             |   |             |   |  |  |
|                  |       |      | 事業費計(ア)     | 千円   |             | 911 | 728         | 660 | 261         | 72  | 72          | 72 |             |   |             |   |  |  |
| 人件費              |       |      | 職員割合        | 人 千円 |             | 0   | 0.01        | 75  | 0.02        | 150 | 0.010       | 75 |             | 0 | 0           | 0 |  |  |
|                  |       |      | 時間外         | 千円   |             |     |             |     |             |     |             |    |             |   |             |   |  |  |
|                  |       |      | 嘱託臨時        | 千円   |             |     |             |     |             |     |             |    |             |   |             |   |  |  |
|                  |       |      | 他課の協力分      | 千円   |             |     |             |     |             |     |             |    |             |   |             |   |  |  |
|                  |       |      | 人件費計(イ)     | 千円   |             | 0   | 75          | 150 | 75          | 0   | 0           | 0  |             |   |             |   |  |  |
| トータルコスト(ア)+(イ)   |       | 千円   |             | 911  | 803         | 810 | 336         | 72  | 72          | 72  |             |    |             |   |             |   |  |  |
| 指標区分             |       | 単位   | 23年度(実績)    |      | 24年度(実績)    |     | 25年度(実績)    |     | 26年度(実績)    |     | 27年度(目標)    |    | 28年度(目標)    |   | 29年度(目標)    |   |  |  |
| 活動指標             | 積立額   | 円    | 910,077     |      | 727,969     |     | 659,690     |     | 260,147     |     | 72,000      |    | 72,000      |   | 72,000      |   |  |  |
|                  | 取崩額   | 円    | 21,010,339  |      | 0           |     | 0           |     | 0           |     | 0           |    | 0           |   | 0           |   |  |  |
| 対象指標             | 市民    | 人    | 78,862      |      | 78,279      |     | 77,723      |     | 77,351      |     | 77,351      |    | 77,351      |   | 77,351      |   |  |  |
|                  | 基金数   | 件    | 1           |      | 1           |     | 1           |     | 1           |     | 1           |    | 1           |   | 1           |   |  |  |
| 成果指標             | 活用事業数 | 事業   | 4           |      | 0           |     | 0           |     | 0           |     | 0           |    | 0           |   | 0           |   |  |  |
|                  | 基金残高  | 円    | 297,564,993 |      | 298,292,962 |     | 298,952,652 |     | 299,212,799 |     | 299,284,799 |    | 299,356,799 |   | 299,428,799 |   |  |  |

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

|   |
|---|
| 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》<br>合併後、平成23年度までは、主に地域振興に資するイベント事業等に充当するため基金の取崩を行ってきた。 |
|---|

【CHECK】事務事業の一次評価

|  |   |
|--|---|
| 必要性評価  | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》<br>②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》 |
|  | <input type="checkbox"/> 適切である<br><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある  |
| 有効性評価  | ③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》<br>④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》                                    |
|  | <input type="checkbox"/> 向上の余地がない<br><input type="checkbox"/> 向上の余地がある  |
| 効率性評価  | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》<br>⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》           |
|  | <input type="checkbox"/> 削減の余地がない<br><input type="checkbox"/> 削減の余地がある  |
| 一次評価結果   |   |
| 全体総括(振り返り, 反省点)  |   |
| 必要性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある |   |
| 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある |   |
| 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある |   |

【ACTION】事務事業の改革・改善

フォローアップ 前年度の課題や問題点

その他

|   |  |  |
|---|--|--|
| ①改革・改善案<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法 | ③前年度の改革・改善案<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>④取組状況 | ⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策<br><br>影響は大きく、問題の発生が予想される代替案や対策を採ることで対応できる<br><br><br><br><br><br>⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む)<br><br>他に手段がない<br>他に手段がある(事務事業名・活動名)<br><br>名称 <input type="text"/><br><br>p |
|---|--|--|

【PLAN】事務事業の計画

|      |        |  |
|------|--------|--|
| 総合評価 | 今後の方向性 |  |
|      | 資源配分   |  |



社会情勢の変化・市民ニーズの把握

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》  
 筑波山周辺地域をジオパークとして整備し、笠間市のブランド力の向上と本地域の地質・自然環境・歴史、文化を自治体の垣根を越えて一体的振興することにより、教育及び学習の振興などの切り口を持った付加価値の高い観光産業が求められている

【CHECK】事務事業の一次評価

|        |   |  |
|--------|---|--|
| 必要性評価  | ①行政関与の必要性《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》              | 筑波山を中心に、関係自治体(笠間市、つくば市、石岡市、桜川市、土浦市、かすみがうら市)及び関係団体(筑波大学、独立行政法人産業技術総合研究所)との共同事業である。また、総合計画では、多様な観光魅力の創出に「ニューツーリズムの促進」が計画されている。 |
|        | ②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》         |  |
| 有効性評価  | ③成果の向上余地《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》                     | 笠間市の地域資源を生かしたニューツーリズムとして有効である。   |
|        | ④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》                                    |  |
| 効率性評価  | ⑤事業費の削減余地《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》                        | 削減の余地はない。  |
|        | ⑥人件費の削減余地《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》         |  |
| 一次評価結果 |   | 全体総括(振り返り、反省点)   |
| 必要性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある | 平成28年度に筑波山地域ジオパーク構想の認定を受けるため、関係自治体や関係団体との協議の上、本市の魅力を発信するジオサイトの構築をしていく。   |
| 有効性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある |  |
| 効率性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある |  |

【ACTION】事務事業の改革・改善

|  |
|--|
| ①改革・改善案                                      |
| 基本構想からの再構築を図るため、市独自のジオパークへの理解を深めるための取組を開始する。 |
| ②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法                   |
| 学生などと連携し、市独自の事業を実施する。                        |

フォローアップ 前年度の課題や問題点

|                                     |
|-------------------------------------|
| ③前年度の改革・改善案                         |
| 市民への周知を多くして、ジオパーク構想に対する理解を深める必要がある。 |
| ④取組状況                               |
| 市報等での周知強化を実施。                       |

その他

|  |
|--|
| ⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策           |
| 影響は大きく、問題の発生が予想される代替案や対策を採ることで対応できる      |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む)               |
| 他に手段がない<br>他に手段がある(事務事業名・活動名)            |
| 名称 <input type="text"/>                  |
| 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる統廃合や連携はできない・既に連携している |

【PLAN】事務事業の計画

|      |        |         |  |
|------|--------|---------|--|
| 総合評価 | 今後の方向性 | 現行どおり継続 | 稲田みかげ石や笠間焼、愛宕山ハイキングロード内の屏風岩等、佐白山大黒石など本市固有のジオサイトをめぐるジオツアーを構築をし、魅力を発信するのに重要な事業である。 |
|      | 資源配分   | 拡 充     |  |

実施計画・事務事業評価共通調書

記入日 平成27年3月31日  
所属部課名 市長公室 企画政策課

【PLAN】事務事業の計画 事務事業番号 16

|        |          |      |                              |       |            |        |                    |        |          |
|--------|----------|------|------------------------------|-------|------------|--------|--------------------|--------|----------|
| 事務事業名  | 統計情報提供事業 | 評価区分 | 事務事業性質                       | 政策的事業 | 後期基本計画重点視点 | 補助単独区分 | 所管省庁               |        |          |
|        |          | 評価事業 | 重要事務事業                       | —     |            |        |                    | 市単独    |          |
| 総合計画体系 | 政策       | 6    | 人と地域、絆を大切にしたい元気なまちづくり〔自治・協働〕 | 新規・継続 | 継続         | 補助率    | 統計調査所管省庁<br>茨城県統計課 |        |          |
|        | 小政策      | 3    | 自治を育み、創造的な行財政運営を推進します        | 開始年度  | 終了年度       |        |                    |        |          |
|        | 施策       | 1    | 広報・広聴                        | 事業期間  | H18        |        |                    | -      | 共催者・関係団体 |
|        | 小施策      | 2    | 広報活動の充実                      |       |            |        |                    |        |          |
| 予算科目   | 会計       | 款    | 項                            | 目     | 細目名        | 関連計画   |                    |        |          |
|        |          |      |                              |       |            | 根拠法令   |                    |        |          |
|        |          |      |                              |       |            | 実施手法   | 補助金の有無             | 負担金の有無 |          |
|        |          |      |                              |       |            | 直営     | —                  | —      |          |

|   |  |                 |                 |
|---|--|-----------------|-----------------|
| 1 【事務事業の全体概要及び背景】                           | 2 【H26事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】  | 3 【年度目標】        | 4 【事業費の内容(決算額)】 |
| 各分野で施策立案するための資料として活用できるように、多種多様の統計データを整備する。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>常に最新データを提供できるように、関係省庁などから公表され次第、迅速に更新する。</li> <li>親しみやすいホームページへの更新</li> </ul> | 統計データを必要とする者：全員 |                 |
|   | H27事業計画  | H28事業計画         | H29事業計画         |
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>常に最新データを提供できるように、関係省庁などから公表され次第、迅速に更新する。</li> <li>親しみやすいホームページへの更新</li> </ul> | 左に同じ            | 左に同じ            |

|              |                                   |   |
|--------------|-----------------------------------|---|
| 5 事務事業の目的と手段 |                                   | 単位  |
| 目的           | ①対象<br>(働きかける相手・もの)               | 市民、市内事業所、市職員等                             |
|              | ②事務事業の意図(どのようにしたいのか。どういう状態にしたいのか) | 各分野にわたる統計データを整備し、データ利用者の要望に対応             |
| 手段           | ③目的を達成するために実際に行った行政活動(サービス)       | 国・県の調査結果公表に伴いデータを集約・公表し、迅速的・広域的に統計情報提供を実施 |
|              | ④対象指標                             | データ項目数                                    |
|              | ⑤成果指標                             | 必要とされるデータの提供率<br>ホームページのアクセス数             |
|              | ⑥活動指標                             | ホームページ掲載数                                 |

【DO】事務事業の実施

|                |               |         |          |      |          |      |          |      |          |   |          |   |          |   |          |   |   |   |
|----------------|---------------|---------|----------|------|----------|------|----------|------|----------|---|----------|---|----------|---|----------|---|---|---|
| 事業費及び指標の推移     |               |         |          |      |          |      |          |      |          |   |          |   |          |   |          |   |   |   |
| 事業費            |               | 単位      | 23年度(実績) |      | 24年度(実績) |      | 25年度(実績) |      | 26年度(実績) |   | 27年度(計画) |   | 28年度(計画) |   | 29年度(計画) |   |   |   |
| 投入コスト(インプット)   | 事業費           | 財源内訳    | 国庫支出金    | 千円   |          |      |          |      |          |   |          |   |          |   |          |   |   |   |
|                |               |         | 県支出金     | 千円   |          |      |          |      |          |   |          |   |          |   |          |   |   |   |
|                |               |         | 地方債      | 千円   |          |      |          |      |          |   |          |   |          |   |          |   |   |   |
|                |               |         | その他      | 千円   |          |      |          |      |          |   |          |   |          |   |          |   |   |   |
|                |               |         | 一般財源     | 千円   |          | 0    |          | 0    |          | 0 |          | 0 |          | 0 |          | 0 |   | 0 |
|                | 事業費計(ア)       | 千円      |          | 0    |          | 0    |          | 0    |          | 0 |          | 0 |          | 0 |          | 0 |   |   |
| 人件費            |               | 職員割合    | 人 千円     | 0.30 | 2,250    | 0.31 | 2,325    | 0.30 | 2,250    |   | 0        |   | 0        |   | 0        | 0 |   |   |
|                |               | 時間外     | 千円       |      |          |      |          |      |          |   |          |   |          |   |          |   |   |   |
|                |               | 嘱託臨時    | 千円       |      |          |      |          |      |          |   |          |   |          |   |          |   |   |   |
|                |               | 他課の協力分  | 千円       |      |          |      |          |      |          |   |          |   |          |   |          |   |   |   |
|                |               | 人件費計(イ) | 千円       |      | 2,250    |      | 2,325    |      | 2,250    |   | 0        |   | 0        |   | 0        |   | 0 |   |
| トータルコスト(ア)+(イ) | 千円            |         | 2,250    |      | 2,325    |      | 2,250    |      | 0        |   | 0        |   | 0        |   | 0        |   |   |   |
| 指標区分           |               | 単位      | 23年度(実績) |      | 24年度(実績) |      | 25年度(実績) |      | 26年度(実績) |   | 27年度(目標) |   | 28年度(目標) |   | 29年度(目標) |   |   |   |
| 活動指標           | ホームページ掲載数     | 項目      | 不明       |      | 7        |      | 7        |      | 7        |   | 7        |   | 7        |   | 7        |   |   |   |
|                |               |         |          |      |          |      |          |      |          |   |          |   |          |   |          |   |   |   |
| 対象指標           | データ項目数        | 項目      | 全般       |      | 全般       |      | 全般       |      | 全般       |   | 全般       |   | 全般       |   | 全般       |   |   |   |
|                |               |         |          |      |          |      |          |      |          |   |          |   |          |   |          |   |   |   |
| 成果指標           | 必要とされるデータの提供率 | %       | 100      |      | 100      |      | 100      |      | 100      |   | 100      |   | 100      |   | 100      |   |   |   |
|                | ホームページのアクセス数  | 件       | 不明       |      | 6,200    |      | 5,500    |      | 4,000    |   | 7,000    |   | 7,000    |   | 7,000    |   |   |   |

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

|   |
|---|
| 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》<br>事務事業の見直しにより、統計データはペーパーレス化となり、ホームページにより情報提供へと改善された。 |
|---|

【CHECK】事務事業の一次評価

|        |   |  |
|--------|---|--|
| 必要性評価  | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》<br>②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》 |  |
|        | <input checked="" type="checkbox"/> 適切である<br><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある   | 国がオープンデータの公表を開始し、笠間市もデータの公表により利用者の利便性を図る |
| 有効性評価  | ③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》<br>④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》                                    |  |
|        | <input type="checkbox"/> 向上の余地がない<br><input checked="" type="checkbox"/> 向上の余地がある   | 国の動向により、ビックデータ公表等情報量の増大が見込まれる。           |
| 効率性評価  | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》<br>⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》           |  |
|        | <input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地がない<br><input type="checkbox"/> 削減の余地がある   |  |
| 一次評価結果 |   | 全体総括(振り返り, 反省点)                          |
| 必要性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある   |  |
| 有効性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある   |  |
| 効率性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある   |  |

【ACTION】事務事業の改革・改善

|                            |
|----------------------------|
| ①改革・改善案                    |
| /                          |
| ②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法 |
| /                          |

フォローアップ 前年度の課題や問題点

|             |
|-------------|
| ③前年度の改革・改善案 |
| /           |
| ④取組状況       |
| /           |

その他

|   |
|---|
| ⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策<br><br>影響は大きく、問題の発生が予想される代替案や対策を採ることで対応できる   |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む)<br><br>他に手段がない<br>他に手段がある(事務事業名・活動名)<br><br>名称 <input type="text"/><br><br>他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる統廃合や連携はできない・既に連携している |

【PLAN】事務事業の計画

|      |        |         |   |
|------|--------|---------|---|
| 総合評価 | 今後の方向性 | 現行どおり継続 | 統計調査における調査結果を広く公表することにより、行政の施策等に対する関心を高め、市民の意識向上を図ることができるため重要であり現行どおりとする。 |
|      | 資源配分   | 現状維持    |   |

実施計画・事務事業評価共通調書

|      |            |
|------|------------|
| 記入日  | 平成26年8月7日  |
| 所属課名 | 市長公室 企画政策課 |

【PLAN】事務事業の計画 事務事業番号 17

| 事務事業名  | 市街地活性化推進事業 |     | 評価区分                            | 事務事業性質 | 政策的事業             | 後期基本計画重点視点 | 補助単独区分         | 所管省庁   |       |
|--------|------------|-----|---------------------------------|--------|-------------------|------------|----------------|--------|-------|
|        |            |     | 評価事業                            | 重要事務事業 | ○                 | 健康都市かき     |                | 国補助    | 国土交通省 |
| 総合計画体系 | 政策         | 1   | 広域交流基盤を生かした新時代のまちづくり〔土地利用・都市基盤〕 | 新規・継続  | 継続                | 健康都市かき     | 補助率            | 0.4    |       |
|        | 小政策        | 1   | 交流と地域の力を高める土地利用を進めます            | 事業期間   | 開始年度              | 終了年度       |                |        |       |
|        | 施策         | 2   | 拠点づくりと市街地整備                     |        | 25                | 30         |                |        |       |
|        | 小施策        | 2   | 地区生活拠点づくりの推進                    |        | 共催者・関係団体          |            |                |        |       |
| 予算科目   | 会計         | 款   | 項                               | 目      | 細目名               | 関連計画       | 笠間市駅周辺整備活性化プラン |        |       |
|        | 一般         | 総務費 | 総務管理費                           | 企画費    | 市街地活性化推進事業        | 根拠法令       |                |        |       |
|        | 一般         | 総務費 | 総務管理費                           | 企画費    | 緊需(駅周辺活性化プラン推進事業) | 実施手法       | 補助金の有無         | 負担金の有無 |       |
|        |            |     |                                 |        |                   | 直営         | —              | —      |       |

| 1【事務事業の全体概要及び背景】   | 2【H26事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】  | 3【年度目標】  | 4【事業費の内容(決算額)】                               |
|--|---|--|--|
| 笠間市駅周辺整備活性化プランに基づいた各種事業の推進及び3地区(友部, 笠間, 岩間)市街地の活性化策の総合的な検討及び推進するとともに, 大学連携による都市ブランドの向上及び若者の市内への引きこみ等を目的に, 市全体のコンセプト形成から各地域のデザイン形成を複数年度に渡り実施する。 | 市街地活性化基礎調査結果を受けた分析及び友部, 稲田地区の各種事業の推進, 岩間地区整備事業の財源確保等を実施するとともに, 大学連携による岩間地区地域デザインの形成提案に向けた地元との調整, 現地での活動の支援等を実施。 | 友部, 稲田地区関連事業の推進及び岩間地区整備事業の実施に向けた調整, 岩間地区における地域デザインの形           | 貸金 1,028,300<br>需用費 961,200<br>委託料 8,307,014 |
|  | H27事業計画<br>市街地活性化策の検討及び民間活力の誘導策の検討。大学連携による友部地区(宍戸)地域デザインの形成提案に向けた地元との調整, 現地での活動支援等を実施。                          | H28事業計画<br>大学連携による友部地区地域デザインの形成提案及び平成24年度からの活動を活用したコアコンセプトの確立。 | H29事業計画<br>大学連携によるコアコンセプトの効果促進事業の実施。         |

| 5 事務事業の目的と手段 |                                   |   |       | 単位                                      |
|--------------|-----------------------------------|---|-------|---|
| 目的           | ①対象(働きかける相手・もの)                   | 市民, まちづくり組織   | ④対象指標 | 市民 人<br>大学 団体                           |
|              | ②事務事業の意図(どのようにしたいのか。どういう状態にしたいのか) | 各市街地の特性を生かした地域の活性化を図り, 賑わいのある持続可能なまちを構築し, 「文化交流都市」の実現をめざす。                                  | ⑤成果指標 | 駅周辺の歩行者数(昼間12時間) 人<br>フィールドワーク等での来訪者数 人 |
| 手段           | ③目的を達成するために実際に行った行政活動(サービス)       | ・笠間市駅周辺整備活性化プランに定めた地域及び他の市街地の活性化を図るインフラ整備のほか, 活性化を図るソフト事業等の推進<br>・庁内推進会議により分野を横断した各事業の調整を行う | ⑥活動指標 | 関連事業数 件<br>地域デザインの提案件数 件                |

【DO】事務事業の実施

| 事業費及び指標の推移     |                  |         |       |          |          |          |          |          |          |          |       |       |       |       |      |       |
|----------------|------------------|---------|-------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-------|-------|-------|-------|------|-------|
|                |                  | 事業費     | 単位    | 23年度(実績) | 24年度(実績) | 25年度(実績) | 26年度(実績) | 27年度(計画) | 28年度(計画) | 29年度(計画) |       |       |       |       |      |       |
| 投入コスト(インプット)   | 事業費              | 財源内訳    | 国庫支出金 | 千円       |          |          |          | 2,000    | 4,006    | 3,500    | 3,500 |       |       |       |      |       |
|                |                  |         | 県支出金  | 千円       |          |          |          | 1,028    |          |          |       |       |       |       |      |       |
|                |                  |         | 地方債   | 千円       |          |          |          |          |          |          |       |       |       |       |      |       |
|                |                  |         | その他   | 千円       |          |          | 2,434    | 2,734    | 7,268    | 1,604    |       |       |       |       |      |       |
|                |                  | 一般財源    | 千円    |          |          | 2,434    | 2,734    | 10,296   | 5,610    | 3,500    | 3,500 |       |       |       |      |       |
|                | 事業費計(ア)          | 千円      |       | 0        | 2,434    | 2,734    | 10,296   | 5,610    | 3,500    | 3,500    |       |       |       |       |      |       |
| 人件費            |                  | 職員割合    | 人 千円  | 0        | 0.11     | 825      | 0.50     | 3,750    | 0.250    | 1,875    | 0.25  | 1,875 | 0.25  | 1,875 | 0.25 | 1,875 |
|                |                  | 時間外     | 千円    |          |          | 40       | 170      | 150      |          |          |       |       |       |       |      |       |
|                |                  | 嘱託臨時    | 千円    |          |          |          | 260      |          |          |          |       |       |       |       |      |       |
|                |                  | 他課の協力分  | 千円    |          |          |          |          |          |          |          |       |       |       |       |      |       |
|                |                  | 人件費計(イ) | 千円    |          | 0        | 865      | 4,180    | 2,025    | 1,875    | 1,875    | 1,875 | 1,875 | 1,875 |       |      |       |
| トータルコスト(ア)+(イ) |                  | 千円      |       | 0        | 3,299    | 6,914    | 12,321   | 7,485    | 5,375    | 5,375    | 5,375 |       |       |       |      |       |
|                |                  | 指標区分    | 単位    | 23年度(実績) | 24年度(実績) | 25年度(実績) | 26年度(実績) | 27年度(目標) | 28年度(目標) | 29年度(目標) |       |       |       |       |      |       |
| 活動指標           | 関連事業数            | 件       |       |          |          | 3        | 2        | 2        | 0        | 0        |       |       |       |       |      |       |
|                | 地域デザインの提案件数      | 件       |       |          |          | 1        | 1        | 1        | 1        | 1        |       |       |       |       |      |       |
| 対象指標           | 市民               | 人       |       |          |          |          | 77,000   | 77,000   | 76,000   | 76,000   |       |       |       |       |      |       |
|                | 大学               | 団体      |       |          |          |          | -        | -        | -        | -        |       |       |       |       |      |       |
| 成果指標           | 駅周辺の歩行者数(昼間12時間) | 人       |       |          |          |          | 293      | 300      | -        | -        |       |       |       |       |      |       |
|                | フィールドワーク等での来訪者数  | 人       |       |          |          |          | 66       | 50       | 50       | 50       |       |       |       |       |      |       |

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》  
 人口減少局面にある中で持続可能な都市経営を行う上では、市街地の活性化は大きな課題となっており、大学がもつ「知」と「学生」という財産を、まちづくりに活用する取組みは、まちづくりを進める上で欠かせない要素となっている。

【CHECK】事務事業の一次評価

|        |   |  |
|--------|---|--|
| 必要性評価  | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》<br>②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》 | 人口減少の中での市街地活性化策の検討及び推進であり、総合計画との整合及び関与については問題はない。  |
|        | <input checked="" type="checkbox"/> 適切である<br><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある   |  |
| 有効性評価  | ③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》<br>④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》                                    | 分野を横断する施策展開であり、必要に応じて庁内調整会議を行い実施しているが、市民との協議を含めて主体が曖昧になる部分もあるため、役割や求める成果をより明確にしていく必要がある。 |
|        | <input type="checkbox"/> 向上の余地がない<br><input checked="" type="checkbox"/> 向上の余地がある   |  |
| 効率性評価  | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》<br>⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》           | 構成する事業について、事業費及び人件費ともに経費以上の活動量となっていると考える。  |
|        | <input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地がない<br><input type="checkbox"/> 削減の余地がある   |  |
| 一次評価結果 |   | 全体総括(振り返り, 反省点)  |
| 必要性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある   | これまでの経緯も踏まえ、交付金の活用などによる財源確保に努めながら進めている。市全体を俯瞰した市街地の活性化策の検討にも着手しており、引き続き進めていく。            |
| 有効性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある  |  |
| 効率性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある   |  |

【ACTION】事務事業の改革・改善

|  |
|--|
| ①改革・改善案<br>平成27年度から事業を再編して実施する。                |
| ②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法<br>再編により事業目的を明確化する。 |

フォローアップ 前年度の課題や問題点

|  |
|--|
| ③前年度の改革・改善案<br>周辺住民への周知及び意見聴取の機会を設ける必要がある。 |
| ④取組状況<br>地元住民との懇談会等を実施。                    |

その他

|  |
|--|
| ⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策<br>影響は大きく、問題の発生が予想される代替案や対策を採ることで対応できる  |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む)<br>他に手段がない<br>他に手段がある(事務事業名・活動名)<br>名称 <input type="text"/><br>他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる統廃合や連携はできない・既に連携している |

【PLAN】事務事業の計画

|      |        |         |
|------|--------|---------|
| 総合評価 | 今後の方向性 | 現行どおり継続 |
|      | 資源配分   | 現状維持    |



社会情勢の変化・市民ニーズの把握

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》  
 合併後7年が経過し、公共施設や道路状況の変化、民間による開発等により人の流れも変わってきているため、現状を正確に把握することが必要である。また、今後ますます進む少子高齢化に対応するまちづくり及び公共交通のあり方の検討が急務であり、庁内関係各課、地域住民、関係事業者、関係機関とより具体的な議論をするための基礎資料として、この調査結果は重要となるものとする。

【CHECK】事務事業の一次評価

|        |   |  |
|--------|---|--|
| 必要性評価  | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》<br>②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》 |  |
|        | <input checked="" type="checkbox"/> 適切である<br><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある   | 次期総合計画を策定する上でも、重要な基礎資料となる。   |
| 有効性評価  | ③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》<br>④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》                                    |  |
|        | <input checked="" type="checkbox"/> 向上の余地がない<br><input type="checkbox"/> 向上の余地がある   | 今後のまちづくりの基礎資料なると考えるので、市民への波及効果は大きい。  |
| 効率性評価  | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》<br>⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》           |  |
|        | <input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地がない<br><input type="checkbox"/> 削減の余地がある   | 緊急雇用対策委託事業(県補助10/10)により行う。<br>今年度は、実施に向けて必要な調査内容を精査し、調査事業者と打合せを行った。<br>実質的な調査は来年度行う。 |
| 一次評価結果 |   | 全体総括(振り返り, 反省点)  |
| 必要性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある   | 来年度が実質的な調査となるので、効率よく調査を進め、現状の正確な情報の把握に努めたい。  |
| 有効性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある   |  |
| 効率性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある   |  |

【ACTION】事務事業の改革・改善

|                            |
|----------------------------|
| ①改革・改善案                    |
| ②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法 |

フォローアップ 前年度の課題や問題点

|             |
|-------------|
| ③前年度の改革・改善案 |
| ④取組状況       |

その他

|  |
|--|
| ⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策           |
| 影響は大きく、問題の発生が予想される代替案や対策を採ることで対応できる      |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む)               |
| 他に手段がない<br>他に手段がある(事務事業名・活動名)            |
| 名称 <input type="text"/>                  |
| 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる統廃合や連携はできない・既に連携している |

【PLAN】事務事業の計画

|      |        |      |   |
|------|--------|------|---|
| 総合評価 | 今後の方向性 | 事業完了 | 今後のまちづくりの基礎資料なるので、さらに内容を精査調整し、必要な情報の収集に努める。 |
|      | 資源配分   | —    |   |



社会情勢の変化・市民ニーズの把握

|  |
|--|
| <p>事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》</p> <p>高齢社会が進展する中で、現在デマンドタクシーかさまの登録者の半数が70歳以上である。乗り換えは利用者にとって目的地までの時間が長くなること、特に高齢者には身体的負担もあることから乗り換えは最小限にすることが求められている。</p> <p>区域や運行時間、運行形態等の態様及び料金の変更については、道路運送法により地域公共交通会議の合意が必要である。</p> |
|--|

【CHECK】事務事業の一次評価

|       |   |   |  |
|-------|---|---|--|
| 必要性評価 | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》<br>②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》 | <input checked="" type="checkbox"/> 適切である<br><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある   | 本事業は、道路運送法において、市が主宰することとされている地域公共交通会議の運営に関するものである。   |
|       | ③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》<br>④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》                                    | <input checked="" type="checkbox"/> 向上の余地がない<br><input type="checkbox"/> 向上の余地がある   | 地域公共交通会議で協議する必要が生じた場合に、会議を開催している。  |
| 有効性評価 | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》<br>⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》           | <input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地がない<br><input type="checkbox"/> 削減の余地がある   | 本事業の事業費は、必要最小限の会議費である。   |
|       | 一次評価結果  | 必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある<br>有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある<br>効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある | 全体総括(振り返り、反省点)<br><br>本事業は、地域公共交通会議の運営に関するもので、主にデマンドタクシーかさまの利便性の向上や運行の効率化に向けた取り組みの検討を行うとともに、関係者の合意形成を図っていくものである。また、会議の開催頻度は、協議すべき事項が生じた場合のみ開催している。 |

【ACTION】事務事業の改革・改善

|                            |
|----------------------------|
| ①改革・改善案                    |
| ②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法 |

フォローアップ 前年度の課題や問題点

|             |
|-------------|
| ③前年度の改革・改善案 |
| ④取組状況       |

その他

|  |
|--|
| ⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策<br><br>影響は大きく、問題の発生が予想される代替案や対策を採ることで対応できる<br><br>デマンドタクシーかさまの運行方針を決定していくうえで、地域公共交通会議での合意形成は、非常に重要なものとなる。そのため、本事業を休止又は廃止した場合、デマンドタクシーかさまの運行維持に大きな支障がでると予想される。 |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む)<br><br>他に手段がない<br>他に手段がある(事務事業名・活動名)<br><br>名称 <input type="text"/><br><br>他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる<br>統廃合や連携はできない・既に連携している   |

【PLAN】事務事業の計画

|      |        |         |      |
|------|--------|---------|------|
| 総合評価 | 今後の方向性 | 現行どおり継続 | 評価理由 |
|      | 資源配分   | 現状維持    |      |

実施計画・事務事業評価共通調書

記入日 平成27年3月31日  
所属部課名 市長公室 企画政策課

【PLAN】事務事業の計画 事務事業番号 20

|        |               |                              |        |       |               |        |          |        |
|--------|---------------|------------------------------|--------|-------|---------------|--------|----------|--------|
| 事務事業名  | ご当地発車メロディ導入事業 | 評価区分                         | 事務事業性質 | 政策的事業 | 後期基本計画重点視点    | 補助単独区分 | 所管省庁     |        |
|        |               | 評価事業                         | 重要事務事業 |       |               |        | 市単独      |        |
| 総合計画体系 | 政策            | 2 多彩な交流で飛躍する活力ある産業のまちづくり〔産業〕 | 新規・継続  | 新規    |               | 補助率    |          |        |
|        | 小政策           | 1 笠間を体感できる観光・産業を振興します        | 開始年度   | 終了年度  |               |        |          |        |
|        | 施策            | 1 観光                         | 事業期間   | H26   |               |        | 共催者・関係団体 |        |
|        | 小施策           | 4 おもてなしの心の醸成と充実              |        |       |               |        |          |        |
| 予算科目   | 会計            | 款                            | 項      | 目     | 細目名           | 関連計画   |          |        |
|        | 一般            | 総務費                          | 総務管理費  | 企画費   | ご当地発車メロディ導入事業 | 根拠法令   |          |        |
|        |               |                              |        |       |               | 実施手法   | 補助金の有無   | 負担金の有無 |
|        |               |                              |        |       |               | 直営     | —        | ○      |

|   |   |   |  |
|---|---|---|--|
| 1 【事務事業の全体概要及び背景】<br>現在、友部駅・岩間駅については駅舎整備に併せご当地発車メロディとして笠間市にゆかりのある「坂本九」氏にちなんだメロディを使用している。笠間駅についても、「坂本九」氏にちなんだ発車メロディを導入することで、駅利用者に本市にゆかりのあることをアピールし、観光交流拠点としての魅力の向上を図る。 | 2 【H26事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】<br>JRとの協議において、使用楽曲の選定等を行う。楽曲使用に伴う著作権法関連の諸手続及びアレンジや録音に関して委託する。放送のためのシステム更改をする。 | 3 【年度目標】<br>・著作権法関連申請及び承諾<br>・JRとの協定締結<br>・更改工事実施<br>・更改工事竣工<br>・精算 | 4 【事業費の内容(決算額)】<br>手数料:1千円<br>使用料及び賃借料:11千円<br>負担金:890千円 |
|   | H27事業計画   | H28事業計画   | H29事業計画  |

|              |                                   |  |       |  |
|--------------|-----------------------------------|--|-------|--|
| 5 事務事業の目的と手段 |                                   |  |       | 単位   |
| 目的           | ①対象<br>(働きかける相手・もの)               | 駅利用者   | ④対象指標 | 市民(駅利用者) 人<br>東日本旅客鉄道株式会社 社<br>日本音楽著作権協会 社 |
|              | ②事務事業の意図(どのようにしたいのか。どういう状態にしたいのか) | 現在、友部駅・岩間駅についてはご当地発車メロディを使用しているが、笠間駅についても導入し、駅利用者に地域のPRを狙うものである。 | ⑤成果指標 | 導入楽曲(上下線) 曲<br>システム更改 式                    |
| 手段           | ③目的を達成するために実際に行った行政活動(サービス)       | ・JRとの協議<br>・楽曲使用に関する諸手続  | ⑥活動指標 | 協定締結 式<br>録音利用許諾 式<br>利用許諾 式               |

【DO】事務事業の実施

|              |                |         |          |          |          |          |          |          |          |   |
|--------------|----------------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|---|
| 事業費及び指標の推移   |                |         |          |          |          |          |          |          |          |   |
| 事業費          |                | 単位      | 23年度(実績) | 24年度(実績) | 25年度(実績) | 26年度(実績) | 27年度(計画) | 28年度(計画) | 29年度(計画) |   |
| 投入コスト(インプット) | 事業費            | 財源内訳    | 千円       |          |          |          |          |          |          |   |
|              |                | 国庫支出金   | 千円       |          |          |          |          |          |          |   |
|              |                | 県支出金    | 千円       |          |          |          |          |          |          |   |
|              |                | 地方債     | 千円       |          |          |          |          |          |          |   |
|              |                | その他     | 千円       |          |          |          | 902      |          |          |   |
|              | 事業費計(ア)        | 千円      | 0        | 0        | 0        | 902      | 0        | 0        | 0        |   |
| 人件費          | 人件費            | 職員割合    | 人 千円     | 0        | 0        | 0        | 0.040    | 300      | 0        | 0 |
|              |                | 時間外     | 千円       |          |          |          |          |          |          |   |
|              |                | 嘱託臨時    | 千円       |          |          |          |          |          |          |   |
|              |                | 他課の協力分  | 千円       |          |          |          |          |          |          |   |
|              |                | 人件費計(イ) | 千円       | 0        | 0        | 0        | 300      | 0        | 0        | 0 |
|              | トータルコスト(ア)+(イ) | 千円      | 0        | 0        | 0        | 1,202    | 0        | 0        | 0        |   |
| 指標区分         |                | 単位      | 23年度(実績) | 24年度(実績) | 25年度(実績) | 26年度(実績) | 27年度(目標) | 28年度(目標) | 29年度(目標) |   |
| 活動指標         | 協定締結           | 式       |          |          |          | 1        |          |          |          |   |
|              | 録音利用許諾         | 式       |          |          |          | 1        |          |          |          |   |
|              | 利用許諾           | 式       |          |          |          | 1        |          |          |          |   |
| 対象指標         | 市民(駅利用者)       | 人       |          |          |          |          |          |          |          |   |
|              | 東日本旅客鉄道株式会社    | 社       |          |          |          |          | 1        |          |          |   |
|              | 日本音楽著作権協会      | 社       |          |          |          |          | 1        |          |          |   |
| 成果指標         | 導入楽曲(上下線)      | 曲       |          |          |          |          | 2        |          |          |   |
|              | システム更改         | 式       |          |          |          |          | 1        |          |          |   |

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

|  |
|--|
| 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》<br>「坂本九」氏が一番ゆかりのある旧笠間市の笠間駅に導入されておらず、市政懇談会等で市民から導入の要望が出されている。 |
|--|

【CHECK】事務事業の一次評価

|  |   |
|--|---|
| 必要性評価  | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》<br>②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》 |
|  | <input type="checkbox"/> 適切である<br><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある  |
| 有効性評価  | ③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》<br>④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》                                    |
|  | <input type="checkbox"/> 向上の余地がない<br><input type="checkbox"/> 向上の余地がある  |
| 効率性評価  | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》<br>⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》           |
|  | <input type="checkbox"/> 削減の余地がない<br><input type="checkbox"/> 削減の余地がある  |
| 一次評価結果<br>必要性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある<br>有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある<br>効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある |   |
| 全体総括(振り返り, 反省点)  |   |

【ACTION】事務事業の改革・改善

|   |
|---|
| ①改革・改善案<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法 |
|---|

フォローアップ 前年度の課題や問題点

|  |
|--|
| ③前年度の改革・改善案<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>④取組状況 |
|--|

その他

|   |
|---|
| ⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策<br><br>影響は大きく、問題の発生が予想される代替案や対策を採ることで対応できる   |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む)<br><br>他に手段がない<br>他に手段がある(事務事業名・活動名)<br>名称 <input type="text"/><br><br>他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる<br>統廃合や連携はできない・既に連携している |

【PLAN】事務事業の計画

|      |        |      |      |
|------|--------|------|------|
| 総合評価 | 今後の方向性 | 事業完了 | 評価理由 |
|      | 資源配分   | —    |      |

実施計画・事務事業評価共通調書

記入日 平成27年3月31日  
所属部課名 市長公室 企画政策課

【PLAN】事務事業の計画 事務事業番号 21

|        |             |     |                              |       |             |       |             |        |      |  |
|--------|-------------|-----|------------------------------|-------|-------------|-------|-------------|--------|------|--|
| 事務事業名  | まちづくり振興基金事業 |     |                              | 評価区分  | 事務事業性質      | 政策的事業 | 後期基本計画重点視点  | 補助単独区分 | 所管省庁 |  |
|        |             |     |                              | 評価外事業 | 重要事務事業      |       |             |        | 市単独  |  |
|        |             |     |                              |       | 総合計画実施計画    | —     |             |        | 補助率  |  |
|        |             |     |                              |       | 新規・継続       | 継続    |             |        |      |  |
| 総合計画体系 | 政策          | 6   | 人と地域、絆を大切にしたい元気なまちづくり〔自治・協働〕 | 事業期間  | 開始年度        | 終了年度  | 共催者・関係団体    |        |      |  |
|        | 小政策         | 3   | 自治を育み、創造的な行財政運営を推進します        |       | H17         |       |             |        |      |  |
|        | 施策          | 3   | 財政運営                         |       | (一部H23)     |       |             |        |      |  |
|        | 小施策         | 2   | 財源の確保                        |       |             |       |             |        |      |  |
| 予算科目   | 会計          | 款   | 項                            | 目     | 細目名         | 関連計画  | 新市建設計画      |        |      |  |
|        | 一般          | 総務費 | 総務管理費                        | 企画費   | まちづくり振興基金事業 | 根拠法令  | まちづくり振興基金条例 |        |      |  |
|        |             |     |                              |       |             | 実施手法  | 補助金の有無      | 負担金の有無 |      |  |
|        |             |     |                              |       |             | 直営    | —           | —      |      |  |

|   |                               |                                   |                          |
|---|-------------------------------|-----------------------------------|--------------------------|
| 1 【事務事業の全体概要及び背景】   | 2 【H26事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】 | 3 【年度目標】                          | 4 【事業費の内容(決算額)】          |
| 合併後の地域の一体感の醸成及び地域振興を図る事業に活用するため、合併特例債を原資とした基金を創出し、地域の振興を図るまちづくりに活用する。 | 基金積立<br>活用する事業の検討             | ・基金積立<br>・基金の活用事業の決定<br>・基金の適切な管理 | まちづくり振興基金積立<br>281,006千円 |
|   | H27事業計画                       | H28事業計画                           | H29事業計画                  |
|   | 基金積立<br>活用する事業の検討<br>基金取崩     | 基金積立<br>活用する事業の検討及び調整             | 基金積立<br>活用する事業の検討及び調整    |

|              |                                   |  |       |               |         |
|--------------|-----------------------------------|--|-------|---------------|---------|
| 5 事務事業の目的と手段 |                                   |  |       | 単位            |         |
| 目的           | ①対象<br>(働きかける相手・もの)               | 市民、基金数   | ④対象指標 | 市民<br>基金数     | 人<br>件  |
|              | ②事務事業の意図(どのようにしたいのか。どういう状態にしたいのか) | 合併後の地域の一体感の醸成及び地域振興を図る事業に活用するため、合併特例債を原資とした基金を創出し、適切に管理していく。 | ⑤成果指標 | 活用事業数<br>基金残高 | 事業<br>円 |
| 手段           | ③目的を達成するために実際に<br>行った行政活動(サービス)   | まちづくり振興基金の積立<br>まちづくり振興基金の取崩                                 | ⑥活動指標 | 積立額<br>取崩額    | 円<br>円  |

【DO】事務事業の実施

|                |       |         |             |               |               |               |               |               |               |     |
|----------------|-------|---------|-------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|-----|
| 事業費及び指標の推移     |       |         |             |               |               |               |               |               |               |     |
| 事業費            |       | 単位      | 23年度(実績)    | 24年度(実績)      | 25年度(計画)      | 26年度(実績)      | 27年度(計画)      | 28年度(計画)      | 29年度(計画)      |     |
| 投入コスト(インプット)   | 事業費   | 財源内訳    | 国庫支出金       | 千円            |               |               |               |               |               |     |
|                |       |         | 県支出金        | 千円            |               |               |               |               |               |     |
|                |       |         | 地方債         | 千円            | 475,000       | 475,000       | 475,000       | 266,000       |               |     |
|                |       |         | その他         | 千円            | 988           | 948           | 1,416         | 1,006         | 284           | 284 |
|                |       |         | 一般財源        | 千円            | 25,000        | 25,000        | 25,000        | 14,000        |               |     |
| 事業費計(ア)        |       | 千円      | 500,988     | 500,948       | 501,416       | 281,006       | 284           | 284           | 284           |     |
| 人件費            | 人件費   | 職員割合    | 人 千円        | 0             | 0.01          | 75            | 0.02          | 150           | 0.030         | 225 |
|                |       | 時間外     | 千円          |               |               |               |               |               |               |     |
|                |       | 嘱託臨時    | 千円          |               |               |               |               |               |               |     |
|                |       | 他課の協力分  | 千円          |               |               |               |               |               |               |     |
|                |       | 人件費計(イ) | 千円          | 0             | 75            | 150           | 225           | 0             | 0             | 0   |
| トータルコスト(ア)+(イ) |       | 千円      | 500,988     | 501,023       | 501,566       | 281,231       | 284           | 284           | 284           |     |
| 指標区分           |       | 単位      | 23年度(実績)    | 24年度(実績)      | 25年度(実績)      | 26年度(実績)      | 27年度(目標)      | 28年度(目標)      | 29年度(目標)      |     |
| 活動指標           | 積立額   | 円       | 500,000,000 | 500,948,629   | 500,756,164   | 281,005,837   | 284,000       | 284,000       | 284,000       |     |
|                | 取崩額   | 円       | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             |     |
| 対象指標           | 市民    | 人       | 78,862      | 78,279        | 77,723        | 77,874        | 77,874        | 77,874        | 77,874        |     |
|                | 基金数   | 件       | 1           | 1             | 1             | 1             | 1             | 1             | 1             |     |
| 成果指標           | 活用事業数 | 事業      | 0           | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             |     |
|                | 基金残高  | 円       | 500,000,000 | 1,000,948,629 | 1,501,704,793 | 1,782,710,630 | 1,782,994,630 | 1,783,278,630 | 1,783,562,630 |     |

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》  
 まちづくり振興基金については、積立期間H24～H26(4ヵ年で17億8千万円を積立)、起債償還の完了したものは新市まちづくり計画掲載事業に充当する。(基金運用益は、H25年度から関連ソフト事業に充当できる。)

【CHECK】事務事業の一次評価

|                 |  |
|-----------------|--|
| 必要性評価           | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》      |
|                 | ②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》 |
| 有効性評価           | ③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》             |
|                 | ④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》                             |
| 効率性評価           | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》                |
|                 | ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》 |
| 一次評価結果          |  |
| 全体総括(振り返り, 反省点) |  |
| 必要性             | <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある     |
| 有効性             | <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある     |
| 効率性             | <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある     |

【ACTION】事務事業の改革・改善

|                            |
|----------------------------|
| ①改革・改善案                    |
| ②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法 |

フォローアップ 前年度の課題や問題点

|             |
|-------------|
| ③前年度の改革・改善案 |
| ④取組状況       |

その他

|  |
|--|
| ⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策               |
| 影響は大きく、問題の発生が予想される代替案や対策を採ることで対応できる          |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む)                  |
| 他に手段がない<br>他に手段がある(事務事業名・活動名)                |
| 名称 <input type="text"/>                      |
| 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる<br>統廃合や連携はできない・既に連携している |

【PLAN】事務事業の計画

|      |        |  |      |
|------|--------|--|------|
| 総合評価 | 今後の方向性 |  | 評価理由 |
|      | 資源配分   |  |      |

実施計画・事務事業評価共通調書

記入日 平成27年3月31日  
 所属部課名 市長公室 企画政策課

【PLAN】事務事業の計画 事務事業番号 22

|        |        |                                |        |       |            |        |          |        |  |
|--------|--------|--------------------------------|--------|-------|------------|--------|----------|--------|--|
| 事務事業名  | 地域振興事業 | 評価区分                           | 事務事業性質 | 政策的事業 | 後期基本計画重点視点 | 補助単独区分 | 所管省庁     |        |  |
|        |        | 評価事業                           | 重要事務事業 | —     |            |        | 市単独      |        |  |
| 総合計画体系 | 政策     | 6 人と地域、絆を大切にしたい元気なまちづくり〔自治・協働〕 | 新規・継続  | 継続    |            | 補助率    |          |        |  |
|        | 小政策    | 3 自治を育み、創造的な行財政運営を推進します        | 開始年度   | 終了年度  |            |        |          |        |  |
|        | 施策     | 2 行政運営                         | 事業期間   | 不明    | 単年度繰返し     |        | 共催者・関係団体 |        |  |
|        | 小施策    | 1 行政マネジメントシステムの確立              |        |       |            |        |          |        |  |
| 予算科目   | 会計     | 款                              | 項      | 目     | 細目名        | 関連計画   |          |        |  |
|        | 一般     | 総務費                            | 総務管理費  | 企画費   | 地域振興事業     | 根拠法令   |          |        |  |
|        |        |                                |        |       |            | 実施手法   | 補助金の有無   | 負担金の有無 |  |
|        |        |                                |        |       | 直営         | —      | ○        |        |  |

|  |   |                                   |   |
|--|---|-----------------------------------|---|
| 1 【事務事業の全体概要及び背景】<br>少子高齢化社会などを背景とした新たな課題に対応し、個性と魅力ある地域の形成と発展に寄与するため、大学の人的・知的資源の相互活用や政策課題への対応、地域活性化に寄与する人材育成等に対し、連携協力することで効率的・効果的な行政運営を図る。 | 2 【H26事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】<br>・大学との連絡調整及び訪問<br>・先進地(自治体・企業等)との連絡調整及び訪問 | 3 【年度目標】<br>・連携協定締結<br>・先進事例調査の実施 | 4 【事業費の内容(決算額)】<br>普通旅費:310千円<br>報償費:7千円<br>消耗品費:27千円<br>工事請負費:98千円<br>負担金:16千円 |
|  | H27事業計画<br>同上   | H28事業計画<br>同左                     | H29事業計画<br>同左   |

|              |                                   |  |       |                          |        |
|--------------|-----------------------------------|--|-------|--------------------------|--------|
| 5 事務事業の目的と手段 |                                   |  |       | 単位                       |        |
| 目的           | ①対象<br>(働きかける相手・もの)               | 大学   | ④対象指標 | 連携大学数                    | 校      |
|              | ②事務事業の意図(どのようにしたいのか。どういう状態にしたいのか) | 関係大学との連携により諸課題解決に向けた取り組みを展開する。また、            | ⑤成果指標 | 大学連携事業件数<br>大学連携協定数(累計)  | 件<br>件 |
| 手段           | ③目的を達成するために実際に行った行政活動(サービス)       | 地域活性化に資する制度や先進事例等について調査研究する<br>関係各課や大学等の協議調整 | ⑥活動指標 | 先進事例調査件数<br>各種制度説明会等参加回数 | 件<br>回 |

【DO】事務事業の実施

|                |              |      |          |          |          |          |          |          |          |   |   |
|----------------|--------------|------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|---|---|
| 事業費及び指標の推移     |              |      |          |          |          |          |          |          |          |   |   |
| 事業費            |              | 単位   | 23年度(実績) | 24年度(実績) | 25年度(計画) | 26年度(実績) | 27年度(計画) | 28年度(計画) | 29年度(計画) |   |   |
| 投入コスト(インプット)   | 事業費          | 財源内訳 | 国庫支出金    | 千円       |          |          |          |          |          |   |   |
|                |              |      | 県支出金     | 千円       |          |          |          |          |          |   |   |
|                |              |      | 地方債      | 千円       |          |          |          |          |          |   |   |
|                |              |      | その他      | 千円       |          |          |          |          |          |   |   |
|                |              |      | 一般財源     | 千円       |          |          |          | 458      |          |   |   |
| 事業費計(ア)        |              | 千円   | 0        | 0        | 0        | 458      | 0        | 0        | 0        |   |   |
| 人件費            |              |      | 職員割合     | 人 千円     | 0        | 0        | 0        | 0.20     | 1,500    | 0 | 0 |
|                |              |      | 時間外      | 千円       |          |          |          |          |          |   |   |
|                |              |      | 嘱託臨時     | 千円       |          |          |          |          |          |   |   |
|                |              |      | 他課の協力分   | 千円       |          |          |          |          |          |   |   |
|                |              |      | 人件費計(イ)  | 千円       | 0        | 0        | 0        | 1,500    | 0        | 0 | 0 |
| トータルコスト(ア)+(イ) |              | 千円   | 0        | 0        | 0        | 1,958    | 0        | 0        | 0        |   |   |
| 指標区分           |              | 単位   | 23年度(実績) | 24年度(実績) | 25年度(目標) | 26年度(実績) | 27年度(目標) | 28年度(目標) | 29年度(目標) |   |   |
| 活動指標           | 先進事例調査件数     | 件    | 12       | 15       | 15       | 15       | 15       | 15       | 15       |   |   |
|                | 各種制度説明会等参加回数 | 回    | 1        | 5        | 5        | 5        | 5        | 5        | 5        |   |   |
| 対象指標           | 連携大学数        | 校    | 7        | 6        | 5        | 10       | 10       | 10       | 10       |   |   |
|                |              |      |          |          |          |          |          |          |          |   |   |
| 成果指標           | 大学連携事業件数     | 件    | 17       | 14       | 10       | 20       | 20       | 20       | 20       |   |   |
|                | 大学連携協定数(累計)  | 件    | 1        | 1        | 1        | 2        | 3        | 3        | 3        |   |   |

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》  
 近年、人口急減・超高齢化という社会が迫りくる中で、複雑化・多様化する地域課題の解決に向けて、高度な専門知識を有する人材を豊富に抱えている大学と地方自治体が連携協働していく必要性が高まっている。また、大学においても、平成18年の教育基本法、平成19年の学校教育法の改正を背景として、地域において市民、団体・企業、自治体等と連携した多様な取組みを展開するとともに、地域のニーズ等を踏まえた教育・研究を行うなど地域の発展に貢献していくことが求められている。

【CHECK】事務事業の一次評価

|        |   |  |
|--------|---|--|
| 必要性評価  | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》   |  |
|        | ②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》  |  |
| 有効性評価  | <input checked="" type="checkbox"/> 適切である<br><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある   | 地域にとっても、各種課題解決に向けて、大学に集積する知識や情報、ノウハウが活用できるとともに、都市部の大学生が地方の現場に入り実践活動することで、交流人口の拡大が図れるなど地域活性化につながる効果がある。                                       |
|        | ③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》<br>④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》  |  |
| 効率性評価  | <input type="checkbox"/> 向上の余地がない<br><input checked="" type="checkbox"/> 向上の余地がある   | 「大学が地域において進めたい研究・教育の内容」や「地域が大学に求める連携事業の内容」など、大学と地域の双方の意向をマッチングさせる仕組みの精度向上を図るとともに、地域側の受入れ態勢を整えることでさらなる成果向上が見込める。                              |
|        | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》<br>⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》   |  |
| 一次評価結果 | <input type="checkbox"/> 削減の余地がない<br><input type="checkbox"/> 削減の余地がある  | 大学訪問や先進事例調査に伴う必要最小限の経費であり、削減余地はないものとする。  |
|        | 必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある<br>有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある<br>効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある | 全体総括(振り返り、反省点)<br><br>国の動向を踏まえ、新たな制度や取組みを展開していくことは、非常に重要である。また、大学連携を展開するうえでも、「官」側の学生等の受入れ態勢の整備も含めた総合的な推進体制を構築し、情報の共有を図っていくことは今後ますます必要になってくる。 |

【ACTION】事務事業の改革・改善

|                            |   |
|----------------------------|---|
| ①改革・改善案                    | 「大学が地域において進めたい研究・教育の内容」や「地域が大学に求める連携事業の内容」など、大学と地域の双方の意向をマッチングさせる仕組みの精度向上を図るとともに、地域側の受入れ態勢を整える。 |
| ②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法 | 特になし。   |

フォローアップ 前年度の課題や問題点

|             |   |
|-------------|---|
| ③前年度の改革・改善案 | 積極的に先進事例調査や新たな制度の理解に努め、「産学官金」連携のための、「官」側の推進体制を整備し、情報の共有を図る。 |
| ④取組状況       | 推進体制整備のひとつとして、学生等の滞在支援として、関係機関と協議調整を行った。                    |

その他

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| ⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策 | 影響は大きく、問題の発生が予想される代替案や対策を採ることで対応できる<br><br>本事業は、新たな制度や先進事例を調査把握するものであり、将来を見通した施策の立案につなげるものである。<br>本事業を休廃止した場合、将来構想などへの影響が懸念される。 |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む)     | 他に手段がない<br>他に手段がある(事務事業名・活動名)<br><br>名称 <input type="text"/><br><br>他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる統廃合や連携はできない・既に連携している                    |

【PLAN】事務事業の計画

|      |        |        |      |
|------|--------|--------|------|
| 総合評価 | 今後の方向性 | 改善し、継続 | 評価理由 |
|      | 資源配分   | 現状維持   |      |



社会情勢の変化・市民ニーズの把握

|  |
|--|
| 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》<br>住民基本台帳の異動を元に報告しているため、市民課との連携が重要である。 |
|--|

【CHECK】事務事業の一次評価

|   |  |   |
|---|--|---|
| 必要性評価   | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》<br>②総合計画との整合性, 対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》 | ③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》<br>④成果の波及効果《全市民, または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》 |
|   | <input checked="" type="checkbox"/> 適切である<br><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある  |   |
| 有効性評価   | <input checked="" type="checkbox"/> 向上の余地がない<br><input type="checkbox"/> 向上の余地がある  | 各種統計調査の結果が集約されたデータが、国や自治体において政策立案の際に必要な基礎資料となっている。  |
|   | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し, 市民の協力など)》<br>⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し, 個々の業務の効率化等, 業務委託や臨時雇用等)》         | <input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地がない<br><input type="checkbox"/> 削減の余地がある                 |
| 一次評価結果<br>必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある<br>有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある<br>効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある |  | 全体総括(振り返り, 反省点)<br><br>法律に基づくもので、現行のまま実施する。   |

【ACTION】事務事業の改革・改善

|   |
|---|
| ①改革・改善案<br><br>②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法<br>特になし |
|---|

フォローアップ 前年度の課題や問題点

|                                  |
|----------------------------------|
| ③前年度の改革・改善案<br><br>④取組状況<br>特になし |
|----------------------------------|

その他

|   |
|---|
| ⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響の有無とその対策<br><br>影響は大きく、問題の発生が予想される代替案や対策を採ることで対応できる  |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む)<br><br>他に手段がない<br>他に手段がある(事務事業名・活動名)<br>名称 <input type="text"/><br>他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる<br>統廃合や連携はできない・既に連携している |

【PLAN】事務事業の計画

|      |        |         |   |
|------|--------|---------|---|
| 総合評価 | 今後の方向性 | 現行どおり継続 | 統計法に基づく調査で、国の主要施策の企画・立案・推進のため重要であるため現行どおりとする。 |
|      | 資源配分   | 現状維持    |   |



社会情勢の変化・市民ニーズの把握

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》  
 個人情報保護の思想が強くなり、調査対象者への調査協りに困難を要する環境にあるため、調査拒否・調査票記入拒否などが増加している。

【CHECK】事務事業の一次評価

|        |  |  |
|--------|--|--|
| 必要性評価  | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》<br>②総合計画との整合性, 対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》 |  |
|        | <input checked="" type="checkbox"/> 適切である<br><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある  | いずれの調査についても統計法に基づき実施しており、市民からなる統計調査員に統計調査を依頼し、市は調査票の内容審査・集計を行い県に提出するという役割になっている。 |
| 有効性評価  | ③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》<br>④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》                                     |  |
|        | <input checked="" type="checkbox"/> 向上の余地がない<br><input type="checkbox"/> 向上の余地がある  | 各種統計調査の結果が集約されたデータが、国や自治体において政策立案の際に必要な基礎資料となっている。                               |
| 効率性評価  | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し, 市民の協力など)》<br>⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し, 個々の業務の効率化等, 業務委託や臨時雇用等)》         |  |
|        | <input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地がない<br><input type="checkbox"/> 削減の余地がある  | 統計法に基づき、国の基準による委託費100%で実施している。   |
| 一次評価結果 |  | 全体総括(振り返り, 反省点)  |
| 必要性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある  | 法律に基づくもので、現行のまま実施する。   |
| 有効性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある  |  |
| 効率性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある  |  |

【ACTION】事務事業の改革・改善

|                                    |
|------------------------------------|
| ①改革・改善案                            |
| ②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法<br>特になし |

フォローアップ 前年度の課題や問題点

|               |
|---------------|
| ③前年度の改革・改善案   |
| ④取組状況<br>特になし |

その他

|  |
|--|
| ⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策<br>影響は大きく、問題の発生が予想される代替案や対策を採ることで対応できる  |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性（民間活動も含む）<br>他に手段がない<br>他に手段がある(事務事業名・活動名)<br>名称 <input type="text"/><br>他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる統廃合や連携はできない・既に連携している |

【PLAN】事務事業の計画

|      |        |         |   |
|------|--------|---------|---|
| 総合評価 | 今後の方向性 | 現行どおり継続 | 統計法に基づく調査で、国の主要施策の企画・立案・推進のため重要であるため現行どおりとする。 |
|      | 資源配分   | 現状維持    |   |



社会情勢の変化・市民ニーズの把握

|  |
|--|
| 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》<br>個人情報保護の思想が強くなり、調査対象者への調査協りに困難を要する環境にあるため、調査拒否・調査票記入拒否などが増加している。 |
|--|

【CHECK】事務事業の一次評価

|        |   |  |
|--------|---|--|
| 必要性評価  | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》<br>②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》 | いずれの調査についても統計法に基づき実施しており、市民からなる統計調査員に統計調査を依頼し、市は調査票の内容審査・集計を行い県に提出するという役割になっている。 |
|        | <input checked="" type="checkbox"/> 適切である<br><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある   |  |
| 有効性評価  | ③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》<br>④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》                                    | 各種統計調査の結果が集約されたデータが、国や自治体において政策立案の際に必要な基礎資料となっている。                               |
|        | <input checked="" type="checkbox"/> 向上の余地がない<br><input type="checkbox"/> 向上の余地がある   |  |
| 効率性評価  | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》<br>⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》           | 統計法に基づき、国の基準による委託費100%で実施している。   |
|        | <input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地がない<br><input type="checkbox"/> 削減の余地がある   |  |
| 一次評価結果 |   | 全体総括(振り返り, 反省点)  |
| 必要性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある   | 法律に基づくもので、現行のまま実施する。   |
| 有効性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある   |  |
| 効率性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある   |  |

【ACTION】事務事業の改革・改善

|                                    |
|------------------------------------|
| ①改革・改善案                            |
| ②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法<br>特になし |

フォローアップ 前年度の課題や問題点

|               |
|---------------|
| ③前年度の改革・改善案   |
| ④取組状況<br>特になし |

その他

|  |
|--|
| ⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策<br><br>影響は大きく、問題の発生が予想される代替案や対策を採ることで対応できる  |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性（民間活動も含む）<br><br>他に手段がない<br>他に手段がある(事務事業名・活動名)<br><br>名称 <input type="text"/><br><br>他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる統廃合や連携はできない・既に連携している |

【PLAN】事務事業の計画

|      |        |         |   |
|------|--------|---------|---|
| 総合評価 | 今後の方向性 | 現行どおり継続 | 統計法に基づく調査で、国の主要施策の企画・立案・推進のため重要であるため現行どおりとする。 |
|      | 資源配分   | 現状維持    |   |



社会情勢の変化・市民ニーズの把握

|  |
|--|
| 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》<br>個人情報保護の思想が強くなり、調査対象者への調査協りに困難を要する環境にあるため、調査拒否・調査票記入拒否などが増加している。 |
|--|

【CHECK】事務事業の一次評価

|        |  |  |
|--------|--|--|
| 必要性評価  | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》<br>②総合計画との整合性, 対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》 | いずれの調査についても統計法に基づき実施しており、市民からなる統計調査員に統計調査を依頼し、市は調査票の内容審査・集計を行い県に提出するという役割になっている。 |
|        | <input checked="" type="checkbox"/> 適切である<br><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある  |  |
| 有効性評価  | ③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》<br>④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》                                     | 各種統計調査の結果が集約されたデータが、国や自治体において政策立案の際に必要な基礎資料となっている。                               |
|        | <input checked="" type="checkbox"/> 向上の余地がない<br><input type="checkbox"/> 向上の余地がある  |  |
| 効率性評価  | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し, 市民の協力など)》<br>⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し, 個々の業務の効率化等, 業務委託や臨時雇用等)》         | 統計法に基づき、国の基準による委託費100%で実施している。   |
|        | <input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地がない<br><input type="checkbox"/> 削減の余地がある  |  |
| 一次評価結果 |  | 全体総括(振り返り, 反省点)  |
| 必要性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある  | 法律に基づくもので、現行のまま実施する。   |
| 有効性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある  |  |
| 効率性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある  |  |

【ACTION】事務事業の改革・改善

|                                    |
|------------------------------------|
| ①改革・改善案                            |
| ②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法<br>特になし |

フォローアップ 前年度の課題や問題点

|               |
|---------------|
| ③前年度の改革・改善案   |
| ④取組状況<br>特になし |

その他

|  |
|--|
| ⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策<br><br>影響は大きく、問題の発生が予想される代替案や対策を採ることで対応できる  |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性（民間活動も含む）<br><br>他に手段がない<br>他に手段がある(事務事業名・活動名)<br>名称 <input type="text"/><br><br>他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる<br>統廃合や連携はできない・既に連携している |

【PLAN】事務事業の計画

|      |        |         |   |
|------|--------|---------|---|
| 総合評価 | 今後の方向性 | 現行どおり継続 | 統計法に基づく調査で、国の主要施策の企画・立案・推進のため重要であるため現行どおりとする。 |
|      | 資源配分   | 現状維持    |   |



社会情勢の変化・市民ニーズの把握

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》  
 個人情報保護の思想が強くなり、調査対象者への調査協りに困難を要する環境にあるため、調査拒否・調査票記入拒否などが増加している。

【CHECK】事務事業の一次評価

|        |  |  |
|--------|--|--|
| 必要性評価  | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》<br>②総合計画との整合性, 対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》 |  |
|        | <input checked="" type="checkbox"/> 適切である<br><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある  | いずれの調査についても統計法に基づき実施しており、市民からなる統計調査員に統計調査を依頼し、市は調査票の内容審査・集計を行い県に提出するという役割になっている。 |
| 有効性評価  | ③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》<br>④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》                                     |  |
|        | <input checked="" type="checkbox"/> 向上の余地がない<br><input type="checkbox"/> 向上の余地がある  | 各種統計調査の結果が集約されたデータが、国や自治体において政策立案の際に必要な基礎資料となっている。                               |
| 効率性評価  | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し, 市民の協力など)》<br>⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し, 個々の業務の効率化等, 業務委託や臨時雇用等)》         |  |
|        | <input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地がない<br><input type="checkbox"/> 削減の余地がある  | 統計法に基づき、国の基準による委託費100%で実施している。   |
| 一次評価結果 |  | 全体総括(振り返り, 反省点)  |
| 必要性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある  | 法律に基づくもので、現行のまま実施する。   |
| 有効性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある  |  |
| 効率性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある  |  |

【ACTION】事務事業の改革・改善

|                                    |
|------------------------------------|
| ①改革・改善案                            |
| ②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法<br>特になし |

フォローアップ 前年度の課題や問題点

|               |
|---------------|
| ③前年度の改革・改善案   |
| ④取組状況<br>特になし |

その他

|   |
|---|
| ⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策<br>影響は大きく、問題の発生が予想される代替案や対策を採ることで対応できる   |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む)<br>他に手段がない<br>他に手段がある(事務事業名・活動名)<br>名称 <input type="text"/><br>他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる統廃合や連携はできない・既に連携している |

【PLAN】事務事業の計画

|      |        |         |   |
|------|--------|---------|---|
| 総合評価 | 今後の方向性 | 現行どおり継続 | 統計法に基づく調査で、国の主要施策の企画・立案・推進のため重要であるため現行どおりとする。 |
|      | 資源配分   | 現状維持    |   |



社会情勢の変化・市民ニーズの把握

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》  
 個人情報保護の思想が強くなり、調査対象者への調査協りに困難を要する環境にあるため、調査拒否・調査票記入拒否などが増加している。

【CHECK】事務事業の一次評価

|        |   |  |
|--------|---|--|
| 必要性評価  | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》             | いずれの調査についても統計法に基づき実施しており、市民からなる統計調査員に統計調査を依頼し、市は調査票の内容審査・集計を行い県に提出するという役割になっている。 |
|        | ②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》        |  |
| 有効性評価  | ③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》                    | 各種統計調査の結果が集約されたデータが、国や自治体において政策立案の際に必要な基礎資料となっている。                               |
|        | ④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》                                    |  |
| 効率性評価  | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》                       | 統計法に基づき、国の基準による委託費100%で実施している。   |
|        | ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》        |  |
| 一次評価結果 |   | 全体総括(振り返り, 反省点)  |
| 必要性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある | 法律に基づくもので、現行のまま実施する。   |
| 有効性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある |  |
| 効率性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある |  |

【ACTION】事務事業の改革・改善

|                                    |
|------------------------------------|
| ①改革・改善案                            |
| ②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法<br>特になし |

フォローアップ 前年度の課題や問題点

|               |
|---------------|
| ③前年度の改革・改善案   |
| ④取組状況<br>特になし |

その他

|  |
|--|
| ⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策<br>影響は大きく、問題の発生が予想される代替案や対策を採ることで対応できる  |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性（民間活動も含む）<br>他に手段がない<br>他に手段がある(事務事業名・活動名)<br>名称 <input type="text"/><br>他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる統廃合や連携はできない・既に連携している |

【PLAN】事務事業の計画

|      |        |         |   |
|------|--------|---------|---|
| 総合評価 | 今後の方向性 | 現行どおり継続 | 統計法に基づく調査で、国の主要施策の企画・立案・推進のため重要であるため現行どおりとする。 |
|      | 資源配分   | 現状維持    |   |



社会情勢の変化・市民ニーズの把握

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》  
 個人情報保護の思想が強くなり、調査対象者への調査協りに困難を要する環境にあるため、調査拒否・調査票記入拒否などが増加している。

【CHECK】事務事業の一次評価

|        |  |  |
|--------|--|--|
| 必要性評価  | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》<br>②総合計画との整合性, 対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》 |  |
|        | <input checked="" type="checkbox"/> 適切である<br><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある  | いずれの調査についても統計法に基づき実施しており、市民からなる統計調査員に統計調査を依頼し、市は調査票の内容審査・集計を行い県に提出するという役割になっている。 |
| 有効性評価  | ③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》<br>④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》                                     |  |
|        | <input checked="" type="checkbox"/> 向上の余地がない<br><input type="checkbox"/> 向上の余地がある  | 各種統計調査の結果が集約されたデータが、国や自治体において政策立案の際に必要な基礎資料となっている。                               |
| 効率性評価  | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し, 市民の協力など)》<br>⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し, 個々の業務の効率化等, 業務委託や臨時雇用等)》         |  |
|        | <input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地がない<br><input type="checkbox"/> 削減の余地がある  | 統計法に基づき、国の基準による委託費100%で実施している。   |
| 一次評価結果 |  | 全体総括(振り返り, 反省点)  |
| 必要性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある  | 法律に基づくもので、現行のまま実施する。   |
| 有効性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある  |  |
| 効率性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある  |  |

【ACTION】事務事業の改革・改善

|                                    |
|------------------------------------|
| ①改革・改善案                            |
| ②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法<br>特になし |

フォローアップ 前年度の課題や問題点

|               |
|---------------|
| ③前年度の改革・改善案   |
| ④取組状況<br>特になし |

その他

|   |
|---|
| ⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策<br>影響は大きく、問題の発生が予想される代替案や対策を採ることで対応できる   |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む)<br>他に手段がない<br>他に手段がある(事務事業名・活動名)<br>名称 <input type="text"/><br>他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる統廃合や連携はできない・既に連携している |

【PLAN】事務事業の計画

|      |        |         |   |
|------|--------|---------|---|
| 総合評価 | 今後の方向性 | 現行どおり継続 | 統計法に基づく調査で、国の主要施策の企画・立案・推進のため重要であるため現行どおりとする。 |
|      | 資源配分   | 現状維持    |   |



社会情勢の変化・市民ニーズの把握

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》  
 個人情報保護の思想が強くなり、調査対象者への調査協りに困難を要する環境にあるため、調査拒否・調査票記入拒否などが増加している。

【CHECK】事務事業の一次評価

|        |  |  |
|--------|--|--|
| 必要性評価  | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》<br>②総合計画との整合性, 対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》 |  |
|        | <input checked="" type="checkbox"/> 適切である<br><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある  | いずれの調査についても統計法に基づき実施しており、市民からなる統計調査員に統計調査を依頼し、市は調査票の内容審査・集計を行い県に提出するという役割になっている。 |
| 有効性評価  | ③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》<br>④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》                                     |  |
|        | <input checked="" type="checkbox"/> 向上の余地がない<br><input type="checkbox"/> 向上の余地がある  | 各種統計調査の結果が集約されたデータが、国や自治体において政策立案の際に必要な基礎資料となっている。                               |
| 効率性評価  | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し, 市民の協力など)》<br>⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し, 個々の業務の効率化等, 業務委託や臨時雇用等)》         |  |
|        | <input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地がない<br><input type="checkbox"/> 削減の余地がある  | 統計法に基づき、国の基準による委託費100%で実施している。   |
| 一次評価結果 |  | 全体総括(振り返り, 反省点)  |
| 必要性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある  | 法律に基づくもので、現行のまま実施する。   |
| 有効性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある  |  |
| 効率性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある  |  |

【ACTION】事務事業の改革・改善

|                                    |
|------------------------------------|
| ①改革・改善案                            |
| ②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法<br>特になし |

フォローアップ 前年度の課題や問題点

|               |
|---------------|
| ③前年度の改革・改善案   |
| ④取組状況<br>特になし |

その他

|   |
|---|
| ⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策<br>影響は大きく、問題の発生が予想される代替案や対策を採ることで対応できる   |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む)<br>他に手段がない<br>他に手段がある(事務事業名・活動名)<br>名称 <input type="text"/><br>他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる統廃合や連携はできない・既に連携している |

【PLAN】事務事業の計画

|      |        |         |   |
|------|--------|---------|---|
| 総合評価 | 今後の方向性 | 現行どおり継続 | 統計法に基づく調査で、国の主要施策の企画・立案・推進のため重要であるため現行どおりとする。 |
|      | 資源配分   | 現状維持    |   |



社会情勢の変化・市民ニーズの把握

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》  
 個人情報保護の思想が強くなり、調査対象者への調査協りに困難を要する環境にあるため、調査拒否・調査票記入拒否などが増加している。

【CHECK】事務事業の一次評価

|        |  |  |
|--------|--|--|
| 必要性評価  | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》<br>②総合計画との整合性, 対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》 |  |
|        | <input checked="" type="checkbox"/> 適切である<br><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある  | いずれの調査についても統計法に基づき実施しており、市民からなる統計調査員に統計調査を依頼し、市は調査票の内容審査・集計を行い県に提出するという役割になっている。 |
| 有効性評価  | ③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》<br>④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》                                     |  |
|        | <input checked="" type="checkbox"/> 向上の余地がない<br><input type="checkbox"/> 向上の余地がある  | 各種統計調査の結果が集約されたデータが、国や自治体において政策立案の際に必要な基礎資料となっている。                               |
| 効率性評価  | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し, 市民の協力など)》<br>⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し, 個々の業務の効率化等, 業務委託や臨時雇用等)》         |  |
|        | <input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地がない<br><input type="checkbox"/> 削減の余地がある  | 統計法に基づき、国の基準による委託費100%で実施している。   |
| 一次評価結果 |  | 全体総括(振り返り, 反省点)  |
| 必要性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある  | 法律に基づくもので、現行のまま実施する。   |
| 有効性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある  |  |
| 効率性    | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある  |  |

【ACTION】事務事業の改革・改善

|                                    |
|------------------------------------|
| ①改革・改善案                            |
| ②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法<br>特になし |

フォローアップ 前年度の課題や問題点

|               |
|---------------|
| ③前年度の改革・改善案   |
| ④取組状況<br>特になし |

その他

|  |
|--|
| ⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策<br>影響は大きく、問題の発生が予想される代替案や対策を採ることで対応できる  |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性（民間活動も含む）<br>他に手段がない<br>他に手段がある(事務事業名・活動名)<br>名称 <input type="text"/><br>他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる統廃合や連携はできない・既に連携している |

【PLAN】事務事業の計画

|      |        |         |   |
|------|--------|---------|---|
| 総合評価 | 今後の方向性 | 現行どおり継続 | 統計法に基づく調査で、国の主要施策の企画・立案・推進のため重要であるため現行どおりとする。 |
|      | 資源配分   | 現状維持    |   |